

第10次

中期3か年計画

令和4年度 ▶ 令和6年度

● ごあいさつ ●



愛知東農業協同組合
代表理事組合長

海野 文貴

J A 愛知東は平成5年10月に旧新城市、鳳来町、作手村の3 J Aによる広域合併により発足し、続いて平成14年10月には北設地域の J A やまびこと大同団結し、新生 J A 愛知東が誕生いたしました。年号も平成から令和へと移り変わり、令和5年10月には合併30周年を迎えることとなります。これもひとえに組合員・利用者の皆様方の深いご理解とご協力のお陰であり、厚く御礼申し上げます。

農業・ J A をとりまく環境は農業者の減少と高齢化、人口減少による消費全体の減退、頻発する自然災害、脱炭素社会に向けた動き、低金利の継続、急速なデジタル化など、激しく変化しています。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大、ウクライナ情勢など飼料、肥料、資材、燃料価格等の上昇をまねき、私たちの営農と生活を一変させています。組合員の営農とくらしを支える J A の組織活動や事業にも大きな課題が生じています。

こうした中、昨年の10月には第29回 J A 全国大会、11月には第16回愛知県 J A 大会が開催され愛知県 J A 大会ではメインテーマを「協同の力できりひらく持続可能な地域農業・ J A のみらい」とし、「農業」「くらし・組織」「 J A 経営」の3つの視点から、農業では「農業の可能性を拡げ、持続可能な地域農業の未来をリードします」、くらし・組織では「身近に農を感じる豊かなくらしを組合員とともに創造します」、 J A 経営では「常に変革し、組合員とともに持続的に発展する J A 経営を実現します」を今後3年間の基本方針とし、食と農を基軸とし地域に根ざした協同組合として10年後の目指す姿を確認するとともに、仲間と協力し、協同の力を高めることで、着実に困難を乗り越え、目指す姿に近づくことを決議しました。

これらを踏まえ、 J A 愛知東 第10次中期3か年計画では、未来永劫存続できる J A、農業と地域社会に根差した J A を目指し、経営理念である《未来に残そう水と緑》を念頭に、組合員との対話を通じ、意見・要望を J A 運営に反映しながら、組合員の営農とくらしを守るために取り組んで参ります。今後とも組合員の皆様の一層のご理解と積極的な参画を心からお願い申し上げます。

● 目 次 ●

ごあいさつ

- ◆ 「第10次中期3か年計画」策定にあたって p 1
- ◆ 経営理念・経営方針 p 2
- ◆ I. 活気と魅力ある奥三河農業の発展を目指します。 p 3
- ◆ II. 協同の力で支え合う豊かなくらしを組合員とともに創造します。 p10
- ◆ III. 地域農業の発展を支える持続可能な J A 経営を組合員とともに実現します。 p14
- ◆ 総合財務計画 3か年計画・総合損益計画 3か年計画 p16
- ◆ 販売品販売高計画表 3か年計画 p17
- ◆ 管内利用者アンケート調査を実施 p18
- ◆ J A の組合員意思反映ルート p32

1. 情勢認識

①農業・J Aを取り巻く環境は、人口動態の変化や、人々のライフスタイル・価値観の多様化、技術革新の加速化等、様々な側面で大きく変化しており、社会全体の構造的な変化は、これからの10年20年において、想像を超えるスピードで更に進んでいくことが予想されます。農業分野では、新たな技術「ロボット・AI・IoT」などの最先端技術を活用したスマート農業が今後さらに加速し、生産効率化が期待されます。また、農畜産物の国内需要は、人口減少及び、コロナウイルス感染症の影響による外食産業・インバウンド需要の低迷により農産物の需要低下が大きな問題であると認識しています。

管内情勢については、農業従事者の高齢化を含む超高齢化の加速、年々進む人口減少、地域経済縮小の懸念など中山間地域に於いては、大変厳しい状況が今後続くと思定しています。

J A情勢では、規制改革推進会議を中心とした協同組合に対する改革議論は終息することなく、規制改革実施計画を基に、令和3年12月に総合的な監督指針「総合農協監督指針」及び、系統金融機関向けの監督指針「信用農協監督指針」が改正されました。この改正により、信用事業に過度に依存するのではなく、経済事業の黒字化を図ることを目指し、農業者の所得向上に取り組むべく、健全で持続性のある経営を確保する観点から、将来の見通しを策定することが求められています。J A愛知東では、持続可能な経営基盤の確立を目指し、今後のさらなる取り組みを提起する必要があります。また、早期警戒制度の導入、公正取引委員会による独占禁止法指導など、法令遵守の体制構築など様々な課題を認識しています。

②みどりの食料システム戦略

環境と調和のとれた食料システムの確立に関する基本理念等を定めるとともに、環境負荷低減を図る事業活動等に関する認定制度を創設

※環境負荷低減を図る事業活動等は、大きくは3つ。

環境負荷低減事業活動……………土づくり、化学農薬・化学肥料の使用削減、温室効果ガスの排出削減等
特定環境負荷低減事業活動……………地域ぐるみでのスマート農業技術の活用、有機農業の団地化等
基盤確立事業（事業者が対象）……………先端的技術の開発、新商品の開発等

2. J Aグループの目指す姿

第16回 J A全国大会決議

協同の力でいきひろく、持続可能な地域農業・J Aのみらい

J Aには、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、組合員や地域の食・農・くらしに関する願いに真摯に向き合う使命があります。また、国際的な目標であるSDGs達成への役割発揮やみどりの食料システム戦略への対応等が期待されています。このため、第16回愛知県J A大会では、「農業」「くらし・組織」「J A経営」の3つの視点から、10年後のJ Aグループ愛知の目指す姿を次のとおり設定しています。J A・中央会・連合会は、10年後の目指す姿の実現に向け、J A大会で定める取り組みの基本方向（大会議案）を踏まえ、組合員との対話のもと、地域の実情に即した創意工夫ある具体的実践方策、目標値を設定し、着実な実践を図ります。

1. 農業の可能性を拡げ、持続可能な地域農業の未来をリードしている姿。
2. 身近に農を感じる豊かなくらしを組合員とともに創造している姿。
3. 常に変革し、組合員とともに持続的に発展するJ A経営を実現している姿。

J A 愛知東 共に支え、共に歩み、未来へ繋げる

経営理念

《未来に残そう水と緑》

奥三河の水と緑と食資源を生かし守る J A を目指します。

●経営方針●

《農業貢献・地域社会貢献・組合員貢献》

第10次中期3か年計画

●基本方針●

- I. 活気と魅力ある奥三河農業の発展を目指します。
- II. 協同の力で支え合う豊かなくらしを組合員とともに創造します。
- III. 地域農業の発展を支える持続可能な J A 経営を組合員とともに実現します。

I. 活気と魅力ある奥三河農業の発展を目指します。

「地域資源を生かした特徴ある『オンリーワン商品』による価格優位性の確立」を最大限に発揮できる営農支援活動を展開し、農家所得向上へと導きます。また、地域農業基盤となる多様な担い手への支援を、「新規就農者の確保」「3つの担い手づくりの育成」「畜産の振興」を柱に充実させ、奥三河の農業に活力をもたらし持続可能な地域農業の確立を目指します。

多様な担い手を軸とした地域農業をリードする(営農)

1. 農業の担い手確保による産地拡大

目指すもの	実施具休策	取組み内容
新規就農者確保による産地の規模拡大	県内外・地元就農希望者募集活動強化	<ul style="list-style-type: none"> ・就農林相談会の開催 ・農業系高校、県農業大学校等への就農希望相談実施 ・親元就農相談実施
	就農関連情報発信力強化	インターネットを活用した広報活動 ホームページによる情報発信 ※就農情報及び地域情報の発信（遊休施設情報含む）
新規就農者支援体制強化	地域関係機関との連携による支援体制強化 (新城設楽担い手育成) (総合支援協議会)	就農検討会の実施
		就農助成金に対する活用支援対策
		遊休施設を活用した就農支援（遊休施設情報収集体含む）
		農地・住居支援対策
	就農資金支援体制の強化	農業制度資金の活用支援（金融部門との連携）

新規就農者 目標人数				3年間 累計	
目標年度	R4年度	R5年度	R6年度		
目標年度	R4年度	R5年度	R6年度	研修生数	9名
研修生数	3名	3名	3名	就農者数	12名
就農者数	6名	3名	3名	うち)新規	10名
うち)新規	6名	2名	2名	うち)親元	2名
うち)親元	0	1名	1名		

※新規就農者…就農前に研修生として1年間農業研修を行います。したがって、就農目標人数は、前年度の研修生となります。

新規就農者実績 (H24~R3)

年 度		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計
いちご	就農者	1 (1)					1 (1)		4 (1)	4 (2)		10 (5)
トマト	就農者	1	3	4	6 (4)	5	2	4	2	2	3	32 (4)
ミニトマト	就農者	2 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)				1	1		8 (5)
ほうれん草	就農者			2 (2)							1	3 (2)
水 稲	就農者	1 (1)			1 (1)	2 (2)		2 (1)	1 (1)			7 (6)
畜 産	就農者	2 (2)	3 (3)	1	1	2 (1)	1 (1)					10 (7)
そ の 他	就農者	2 (2)	2 (1)	3		3 (3)	4	2 (1)				16 (7)
合 計	就農者	9 (7)	10 (6)	11 (3)	9 (6)	12 (6)	8 (2)	8 (2)	8 (2)	7 (2)	4 (0)	86 (36)

※1：その他…なす・菌床しいたけ・露地野菜・鉢花 ※2：（ ）内は親元就農者人数

2. 担い手への支援強化

① 担い手への労働力支援強化による生産力の向上

目指すもの	実施具体策	取組み内容
周年雇用体制整備による労働力不足解消と生産力向上	無料職業紹介所の強化 ※求人方法改良	規模拡大農家への被雇用者の紹介 広報活動強化による雇用確保対策 援農隊の育成と派遣
	品目毎りレー雇用による周年雇用化体制の構築	品目毎の雇用体制の実態把握及び仕組み検討 (R4) 周年雇用体制の取組試験の開始 (R5) 周年雇用体制の確立・運用 (R6)
	特定地域づくり事業協同組合制度の活用による雇用創出 (R4年度制度検討→R5年度制度活用)	

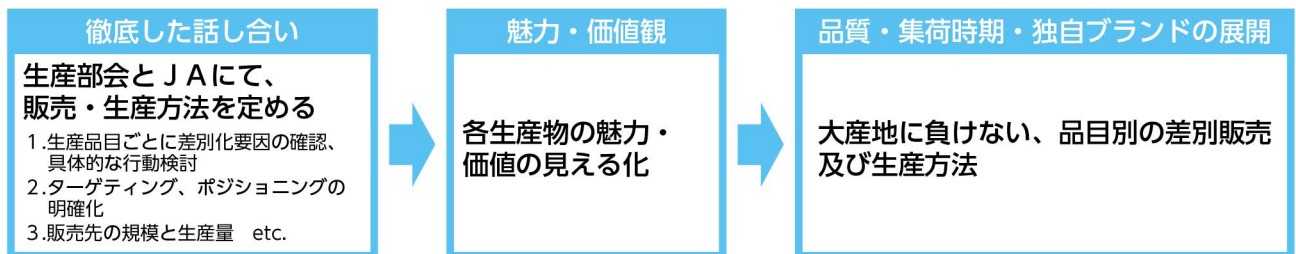
② 経営指導による農家経営基盤強化支援

目指すもの	実施具体策	取組み内容
経営指導による農家経営基盤強化支援 (安定経営のできる事業体の増加)	経営指導 営農指導体制整備による経営指導の実践	農家経営状況の把握と分析 (R4・5) ・農家訪問による経営状況及び方針の把握 農業経営収支改善に対する相談業務実施 (R5) ・農業関連制度に対する活用相談 ・農地拡大・施設規模拡大・機械投資による省力化などの資金支援相談
	関連部署との連携による経営相談の実施	関連部署との情報共有化 ・金融共済部と営農部で定期担当会議の開催
	経営相談職員の育成 (R4) → 関係部署 (金融部門・営農部門)	

3. 販売戦略 (オンリーワン戦略の更なる発展による販売力強化)

① 市場や消費者が求めるニッチ需要を掴む

大きな産地とは異なる管内ならではの強み・こだわりを活かした差別販売



② 販売戦略 (オンリーワン戦略の実践)

目指すもの	実施具体策	取組み内容
地域・生産品目特徴を活かした独自販売戦略による販売力の向上	品目別販売戦略の強化 (オンリーワン戦略) ※地域特性・品目特性を重視した戦略の確立 ※需要ニーズの把握による有利販売戦略の策定 ※ターゲットニング、ポジショニングの明確化	・品目毎に差別化のターゲットニングの確認 ・優位性を確立 (独自能力の発掘) ・販売促進活動による産地認知度の向上 ・商品の独自性を確認し、それを発揮する販売を実施 (ポジショニングの確認) ・強みを発揮できる販売先の選定 (対象市場群の絞り込み) ・実需に対応した生産計画策定 (酒米、契約米など)



③ 販売を軸とした営農指導体制整備による指導力強化

目指すもの	実施具体策	取組み内容
販売戦略を軸とした栽培指導の展開実践	販売体制 販売専門員主導による販売戦略の実践	<ul style="list-style-type: none"> 販売専門員の配属 (R6) 指導員との情報共有による販売戦略の実践 (R5) 農産物販売の指示系統体制の構築 (R5)
	栽培指導体制 各営農センターを拠点とした栽培指導強化体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 栽培指導専門体制の設置 (R5) 出向く栽培指導へ取組み実践 (R5) 攻めの品目・こだわり品目への栽培指導の集中化への実践 (R5) 情報提供による栽培指導展開の実施 (R5)

攻めの品目・こだわりの品目の主な販売戦略及び販売高目標

(単位：千円)

品目	主な実施戦略	R3年度実績	目標販売高 (R6年度)		
			目標販売高 (R6年度)	伸長率 (%)	
攻めの品目	米 穀	独自販売の強化	406,720	383,610	94
	トマト	契約販売増加・秋季の安定出荷	404,824	576,465	142
	苺	大玉生産での付加価値戦略	390,846	402,873	103
	ほうれん草	成分分析評価(高品質)による差別化販売 産地PR強化	41,964	60,000	142
	ミニトマト	高温対策による出荷量の増大	84,769	106,000	125
	菌床しいたけ	大玉しいたけの販売強化	108,029	111,870	103
	肉 牛	脂肪酸分析による鳳来牛ブランド強化	873,579	708,920	81
	和 牛	計画交配による子牛の付加価値向上	301,970	298,560	98
	酪 農	夏場の繁殖改善による乳量安定	568,762	555,984	97
こだわりの品目	お 茶	高級煎茶販売	24,953	21,630	86
	な す	トンネル栽培試験による早期集荷	16,565	19,001	114
	八名丸 さといも	契約販売の強化	8,460	7,863	92
	自然薯	製品率の向上による贈答品拡大	4,003	3,600	89
	つまもの	うらじろ出荷の拡大	8,589	10,153	118
	柿	品種別指導による集荷量増加	38,148	32,881	86
	巨 峰	秀品率向上・房売り出荷増	16,772	16,148	96
	いちじく	10月出荷量増加	4,780	5,657	118
	小 菊	集荷体制構築による集荷量増大	11,012	9,860	89
	梅	大玉生産に向けた取組強化	3,263	2,250	69
鉢 花	インターネット販売の増加	51,482	44,225	85	
しきみ	物日需要に対応した出荷計画の樹立	6,373	6,000	94	
産 直	出荷者・集荷品目の増加	386,332	300,651	77	



(単位：百万)

販売高 (総計)	R4	R5	R6
攻 め の 品 目	3,095	3,170	3,204
こ だ わ り 品 目	578	493	479
総 計	3,673	3,663	3,683

4. 営農購買の充実

目指すもの	実施具体策	取組み内容
営農購買の充実	「栽培指導から繋げる商品提供化」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営農指導力を発揮した商品提案 <ul style="list-style-type: none"> a. 生産部会対応強化 生産部会への予約購買充実 生産コスト削減資材の供給検証（指導と連携）
	新たな商品提案	営農指導員からの新たな商品情報提供の迅速化 コスト削減資材の提案
	受注機能のスマート化	インターネット（スマートフォン） 受注対応の実用化（R5）

5. 3つの担い手づくりの育成（水田農業、基幹品目、産直・直販の担い手）

① 水田農業の担い手（水田維持・経営安定）

	目指すもの	実施具体策	取組み内容
水田維持	担い手への面的集約による大規模化	担い手への農地集積強化	農地中間管理機構を活用した面的集積 新規担い手の推進と確保
	集落営農実現による地域農業維持	集落営農の推進	集落営農のメリット説明会実施 モデル地域の設置
	優良農地維持（水田）	新たな作業受託体制づくり	受託内容（受託種類・規模等）の分析 次世代オペレータの発掘 関係機関との連携
経営の安定化	高食味米栽培技術の確立（食味特Aの取得）	高食味米栽培指導強化	土壌診断と食味値を合わせた分析による栽培指導 土壌診断結果による施肥設計の実施
	地区の特色を生かした販売強化	独自販売の強化による単価維持	新城・鳳来地区：卸売業者への直接取引拡大 作手地区：契約販売の拡大 北設地区：地域流通加工米の継続 全地区（酒米）：酒造の仕込計画を基に計画栽培
	労働力省力化	省力化技術（ICT・スマート農業）への取り組み強化	省力化技術（ICT・スマート農業）導入検討及び試験導入
	コスト削減の強化	資材費削減化への取組み	大型規格による低価格資材（肥料農薬）の提案 低価格資材の試験実施と提供



② 基幹品目の担い手（振興対象基幹品目の普及拡大、生産性向上技術の導入）
農業所得650万円以上の農家育成品目（可処分所得500万円以上）

品 目	目指すもの	実施具体策	取組み内容
トマト	収量増加による 所得向上 (平均反収14t/10a)	秋季の生産安定を図る 資材、品種の導入	<ul style="list-style-type: none"> 萎れ対策での高温期の温度上昇を抑制する資材（遮熱塗布剤等）検証・実施 高温耐性、秋季の裂果耐性のある品種の選定・普及
		環境測定機器導入による ハウス内栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> 環境測定機器の利用拡大（細霧装置、あぐりログ） 環境測定機器を使った環境測定データの分析・活用 環境測定データを使った栽培管理方法の確立
苺	収量増加 (平均反収7t/10a)	大玉生産強化	摘採摘果指導強化
		環境測定値を活用した 栽培管理の適正化を図る	<ul style="list-style-type: none"> 環境測定機器全戸導入による栽培管理の徹底 栽培環境改善の指導強化実施 栽培環境、施設規模別の栽培環境ガイド作成及び活用 CO₂適正使用、管理適正化による増収
		定植苗の安定供給	苗生産の委託先の増強及び苗委託先の発掘と育成
ほうれん草	産地ブランド化への確立 平均単価10%増 年間70万袋（7t/10a）	周年栽培の安定化	種苗協との連携による野菜優良品種試作協会での品種検討実施（年4回）
		差別化による 販売単価の向上	機能性表示食品表示を活用した販売強化 高級スーパーの取引拡大
	作業効率向上による 生産性向上	荷造り作業の省力化	自動包装機の選定及び導入（R6）
ミニトマト	収量の増大 (平均反収8t/10a)	<ul style="list-style-type: none"> 高温対策 栽培品種の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 萎れ対策での高温期の温度上昇を抑制する資材（遮熱塗布剤等）検証・実施 高温耐性、秋季の裂果耐性のある品種の選定・普及
	出荷作業の軽減	作業の省力化	<ul style="list-style-type: none"> パッケージセンターの出荷体系の整備、実施 新しい出荷規格の検討、導入
菌床しいたけ	出荷量の安定化 1菌床 1Kg @1,000円 5,000菌床栽培 500万円	二次培養中の高位平準化	<ul style="list-style-type: none"> 適正温度管理と二酸化炭素の抑制 需要期集中出荷化（乾燥対策と刺激時期の調整） ヒートポンプの導入、活用
		規格品販売強化	<ul style="list-style-type: none"> 大玉規格に特化した販売強化 ニーズに合った規格検討 新品種試験栽培実施

独自戦略品目

品 目	目指すもの	実施具体策	取組み内容
お 茶	優良茶園維持	優良園地確保 (離農者の圃場の取継ぎ)	マッチングによる園地継承
な す	出荷作業の省力化による 安定生産	東三河パッケージセンターの活用	利用生産体系の確立と活用
八名丸 さといも	ブランド力の維持	大玉生産と安定出荷	系統選抜の作付拡大
自然薯	産地規模拡大	製品率向上と栽培面積拡大	部会員相互巡回指導による管理の徹底
つまもの	販売強化と 市場出荷通年化	末需要に向けた販売強化と 市場出荷の通年化	・うらじろ圃場確保と夏場管理の徹底 ・新規販売先の開拓
柿	安定生産と産地維持	早秋の品種切替と害虫被害軽減	・高接ぎ推進及び苗木の普及 ・病虫害防除、整枝技術指導
巨 峰	出荷量の増加	技術継承と園地維持	優良栽培者の技術継承を目的とした講習会実施
いちじく	生産規模拡大	新規栽培面積の拡大	広報、農業塾、産直講習会による募集活動と 栽培説明会の実施
梅	大玉生産に向けた 取組強化、市場外販売強化	大玉生産への取組み強化	・現地指導会の実施 ・生産技術の平準化
小 菊	産地規模拡大	出荷量増大と販路拡大	・物日集中出荷に向けた生産体制の強化、指導 ・経済連と連携した新規販路開拓
鉢 花	販売強化	早期予約率の向上	・スプレー、ポットマム、かがり弁菊の安定生産 ・市場への生産状況の情報提供
しきみ	物日出荷の集中化	物日出荷量の確保	・栽培講習会（整枝・防除）の開催 ・新規苗購入者への栽培指導

③ 産直・直販の担い手（世代にあった栽培品目の提案、産直への出荷支援指導）

目指すもの	実施具体策	取組み内容
多品目生産体系の確立	生産体制の整備とグループの育成	・品目毎のグループを組織化 ・地域、生産者のグループ化と活動実施
学校給食への食材提供	計画生産・出荷の指導体制整備	・必要量、利用時期の整理、情報共有 ・栽培カレンダー整備 ・取組み作目拡大指導

畜産事業の振興（畜産振興による畜産生産基盤の維持と拡大）

目指すもの	実施具体策	取組み内容
畜産農家戸数及び 飼養頭数の維持	新規就農希望者の募集	・行政、農家と連携した情報共有と推進 ・他地域の農家を勧誘 ・補助事業活用によるメリット追及と経営計画 (畜産クラスター事業・畜産経営継承支援事業等)
	既存農家の規模拡大	・規模拡大可能農家の選定 ・経営状況の把握及び農家推進
配合飼料・粗飼料の 安定供給及び 供給価格の低減	自給飼料と国内産粗飼料の確保	・廃業農家所有の圃場での作付け検討、実施 ・他J A等と連携した作付け検討、実施
	飼料高騰への対策要請	・配合飼料価格安定基金制度に対する支援要請 ・水田以外での粗飼料生産に対する支援要請 ・経済連、くみあい飼料に対する対策要請
自給飼料の作付拡大による確保 (自給飼料の安定確保による 生産コスト低減)	他地域と連携したWCSの生産と 利用拡大による飼料コスト低減	他地域で牧草WCSを生産し、管内農家が購入する 仕組みづくりの検討・実施
	自給飼料の生産維持	作付け可能圃場の洗い出し (自給飼料作付け実績の把握及び作業効率の検証) コントラクター、ヘルパー組織の強化
耕畜連携強化による堆肥の 有効活用（堆肥の利用拡大）	耕畜連携による堆肥利用拡大と 堆肥の確保	和牛繁殖農家と酪農家の連携による堆肥確保及び 有休堆肥舎の活用



畜産各部会

品 目	目指すもの	実施具体策	取組み内容
肉牛部会	鳳来牛の高付加価値化 及び枝肉成績向上	鳳来牛の脂質向上 「特産鳳来牛」認定頭数の増頭 及び取扱店舗の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 脂肪酸測定の実施 「脂肪酸ゲノミック検査」「枝肉光学測定」 分析結果による脂肪酸向上の改善 特産鳳来牛の取組方針の検証（試食会の実施）
		交雑種の枝肉成績向上	<ul style="list-style-type: none"> 枝肉成績の分析 関係団体と連携した農家巡回指導 主要取引先との情報交換
和牛部会	高能力子牛の生産 (優良繁殖用雌子牛の) 自家保留増頭	計画的な優良繁殖雌子牛の 生産及び自家保留の推進	<ul style="list-style-type: none"> 交配計画、採卵計画の作成 (遺伝子能力測定技術ゲノミック評価の活用) 自家保留牛選定基準に基づく自家保留
		高能力受精卵の生産と借腹の 確保及び受精卵移植の実施	<ul style="list-style-type: none"> 採卵計画に基づく採卵実施 高齢和牛、交雑牛への受精卵移植 酪農部会との連携 (夏期対策、リピートブリーダー改善) 他地域での借腹確保
酪農部会	安生産費抑制及び 副産物収入向上による 安定した乳量確保	乳質維持と出荷生乳増産	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理指導の徹底 交配計画作成と増頭
		夏場の受胎率改善	<ul style="list-style-type: none"> 受胎状況を成果分析し改善提案 和牛部会と連携した受精卵確保
		後継牛の確保と 高付加価値子牛の生産	<ul style="list-style-type: none"> 交配計画作成に基づく農家巡回指導 優良子牛生産指導
ブリーダー	後継者確保及び 環境対策による 出荷羽数の維持・向上	(株)東栄チキンと連携した後継者対応	既存農家への継承促進と東栄町内での生産者確保
		鶏舎の更新・修繕	老朽施設の修繕と夏場の暑熱対策
		鶏インフルエンザ対策	飼養衛生管理講習の実施と防疫体制の徹底

6. 鳥獣害対策強化

目指すもの	実施具体策	取組み内容	関係部署
鳥獣害対策 (鳥獣害の対策実施) (集落ごと防御対策を実施)	被害状況の調査	被害状況を行政と共有	新城・北設広域 鳥獣害対策 協議会 (営農部)
	鳥獣害対策補助事業を実施	補助事業による侵入防護柵と檻罠を導入	
	集落ごと防御対策を実施	<ul style="list-style-type: none"> 過去の侵入防護柵の管理と補修指導 猟友会による集落ごとの説明会 	

7. 利用施設の老朽化に伴う再編及び合理化

目指すもの	実施具体策	取組み内容	関係部署
共同利用施設の整備	利用施設集約による業務合理化	<ul style="list-style-type: none"> 津具トマト選果場、名倉トマト選果場、柿選果場集約検討実施（R6） 集荷配送計画策定、利用料の設定 北設地区水稻施設の拠点化検討 (津具ライスセンター集約・名倉ライスセンター米倉庫拡張) 	営農・企画
	利用料金の適正化	<ul style="list-style-type: none"> 営農共同利用施設運営委員会の開催 利用料金の検証、改定 労働生産性の向上 	

Ⅱ. 協同の力で支え合う豊かなくらしを 組合員とともに創造します。

管内の組合員・地域住民の高齢化が進む中、JAは組合員・地域のくらしと多様な困りごとに真摯に向き合い、これからも豊かで健康的なくらしを組合員と共に支え合うため、組合員・利用者の視点に立ち、信用・共済・経済など様々な事業を実施する総合性を強みとした、活力ある事業を展開します。さらに、身近に農を感じる豊かなくらしを組合員と共に創造します。

① 相談機能強化による地域農業とくらしを支える(金融)

農業者と地域住民の身近な金融機関として、相談機能強化による「くらし・地域」を支える金融機関機能の充実と地域ニーズに対応した支援を提供し、組合員や地域住民から信頼される事業の展開を図ります。

提案・相談機能の充実による農業メインバンク機能強化

目指すもの	実施具体策	取組み内容
提案・相談業務の 充実による 農業融資支援強化 (営農部との連携)	新規就農者及び規模拡大先 (機械・施設)への 農業融資支援強化	<ul style="list-style-type: none"> ・営農指導と連携した地域農業の把握 ・農業経営相談による融資提案体制の実施 ・農業融資プランナーの育成
	農業経営相談による 資金提案体制の構築及び実施	<ul style="list-style-type: none"> ・営農職員と農家へ定期的な訪問によるニーズの把握 ・営農部との情報共有強化
	提案・相談機能体制強化による 提案型農業融資支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・相談センターの設置 (R5) ・(株)ジャックスと提携した農業融資の選択肢の増加 ・農業融資プランナーの育成

営農事業支援実績 令和3年度信用農業融資実績 農業融資実績
10,051万円 融資件数 37件

地域利用者ニーズに対応した信頼できる金融業務の提供

目指すもの	実施具体策	取組み内容
地域利用者及び 年代別ニーズへの対応	モバイルサービスの周知と 利用の拡充 (次世代層の利用拡大)	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイルサービス機能(インターネットバンク・アプリケーションツール等)の利用促進 ・年代別スマートフォン、アプリ教室の開催
	遠隔相談の普及活動及び活用	<ul style="list-style-type: none"> ・支店窓口による遠隔相談の実施
	年金友の会組織基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ・年金友の会活動支援強化 ・新規イベント活動の実施 ・年金相談会の継続実施(支店別相談業務強化)
相談機能強化	融資、相続、資産活用等 高度な相談対応	<ul style="list-style-type: none"> ・金融サービス(融資・信託・相続)への相談業務専門員の配置 ・相談業務による金融商品の提供 ・相談センター「新設(R5)」への業務集中化
提案型金融サービスの 提供による満足度向上	利用者ニーズに対応する 商品提案 「提案型渉外業務体制の構築」	<ul style="list-style-type: none"> ・支店窓口との情報共有化 ・相談センターとの連携 ・規模拡大(施設・機械)投資への情報提供
くらしを守る ライフライン整備 「災害に備える店舗整備」	自家発電機の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・停電時対応 自家発電設置(R5)(東栄支店) ※自家発電機設置支店数 5支店整備

コンプライアンス意識の高い組織の確立

目指すもの	実施具体策	取組み内容
コンプライアンスの 徹底	事務指導體制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・専門部署またはチームの設置 ・全支店への巡回指導
	マネーロンダリング対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口対応時等のリスク感度向上への研修会開催



業務体制の合理化へ向けた支店再編計画の実施

目指すもの	実施具体策	取組み内容
業務体制の合理化による 事業基盤強化	支店再編の実施	・10支店体制実施（R5年度より） 内3支店→小規模化支店へ整備
	利用量に応じたATMの再編	・ATM6店舗体制実施（R5年度より）
	金融渉外体制の強化	・複合渉外制導入

② 組合員が安心して暮らせる地域づくり保障(共済)

組合員の営農や日常生活に存在する万一の危険に対し、「安心」と「満足」の提供で組合員のくらしの支援を推し進めます。また、今後さらに激変が予想される事業環境の中、JA組織が一体となった業務運営体制で組合員から信頼される事業運営に努め、次世代へと繋がる「安心」を届けます。

組合員・利用者との更なる絆の強化

目指すもの	実施具体策	取組み内容
組合員・利用者との 信頼関係の強化	訪問活動を基本とした、 価格では表せないサービスの 提供（フォロー活動）	・全契約者へのフォロー活動（※1：3Q活動の徹底） ・Webサービスを活用した内容確認、情報発信
	農業リスク支援強化	・農業リスク点検実施
有事の際に安心できる 契約者サービスの実施	大規模災害発生時対応強化	・速やかな損害調査、共済金のお支払いができる体制の構築
	自動車事故対応強化	・事故発生時における初動対応の充実 ・安心サポーター制度（※2）の導入
	生命・医療等の 共済請求対応の強化	・共済請求対応の迅速化
次世代、次々世代層との 繋がりの強化	広報活動を通じた接点拡大	・Webサービスの普及拡大 （スマートフォンを活用した契約者サービスの充実） ・利用者ニーズに沿った、共栄火災の保険商品の提案
	相談業務の充実	・相談センターでの休日対応（R5年度より）
地域貢献活動	安心・安全の提供	・交通安全活動の実施

※1：3Q活動…▽契約者への「ありがとう（サンキュー）の気持ち」を込めた訪問活動を行う。▽訪問時には「ご家族におかわりがありませんか?」「保障について気になったことはありませんか?」「ご加入の保障内容で、ご不明・ご心配なことはありませんか?」という「3つのQ（質問）」を行うことで、組合員・利用者とのコミュニケーションを深め、さらに次世代へと安心を繋げる活動。

※2：安心サポーター制度…事故が発生した際、平日の事故の受付や現場急行（ご要請がある場合）および事故相談をサポート

組合員・利用者から信頼される窓口体制の確立

目指すもの	実施具体策	取組み内容
安心に信頼される相談・ 幅広い提案活動の確立	専門性の高い相談・ 幅広い提案活動の向上	・支店職員全体の共済知識と提案力向上の研修会開催
	ライフアドバイザーの 支店配属、複合渉外の設置	・支店の「共済渉外」として支店窓口との連携強化 ・支店共済担当として共済事業全般に幅広く活動

令和3年度共済支払実績

共済支払実績 全体 429,559万円

生命系共済金	75,101万円	自動車・自賠責共済金	42,641万円
建物系共済金	8,904万円	満期共済金	154,347万円
年金共済金	147,985万円	その他	578万円

③ 地域農業とくらしに寄り添う店舗

地元食材供給量の拡大と地域と共に歩む店舗運営

目指すもの	実施具体策	取組み内容
「Aコープしんしろ」を 基幹とした 地域に根差した 店舗運営の展開	地場製品の取扱向上並びに 産直売場の充実・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・「Aコープしんしろ店」「もっくる新城」の産直コーナー拡大 ・産直品をはじめとする商品の店舗間流通の実施 ・取扱部門商品の見直し検討
	売り場改善対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者目線に立った売場づくり (買い回りしやすい、手に取りたくなる陳列実施) ・時節取り扱い商品の充実 ・他店との差別化(地元農産物・J Aブランド商品強化)
	新たな利用客の獲得と リピーターの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントカード利用者へ向けた小イベント開催 ・SNS、アプリを利用した若年層への情報発信強化
	新たな販売チャンネルの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット販売等新たな販売チャンネルの開発 (営農部門、広報と連携)
	出荷物の商品提案と 品質管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者へ商品提案と産直売場の管理体制の強化
	学校給食および地元飲食店への 食材供給強化	<ul style="list-style-type: none"> ・営農部門と連携した生産グループの設置 ・新たな食材の提案
	グリーンセンターしんしろ 閉鎖に伴う新店舗構想	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設店舗運営及び新店舗の検討
産直の担い手づくり	新規出荷者の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・生産部会からの誘導 ・農業塾生への加入促進 ・広報を利用した加入促進
	出荷しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット活用による栽培日誌迅速化
	ルールの周知、徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷者及び従業員への集荷規則等の周知・徹底 ・店内掲示を利用した出荷方法や陳列、表示ルールの周知徹底
	産直販売指導強化	<ul style="list-style-type: none"> ・指導体制の強化による産直販売提案及び栽培・資材提案
鳳来牛の ブランド力向上に 資するレストラン運営 (ごんたく長篠)	鳳来牛の供給量の増大とPR	<ul style="list-style-type: none"> ・メニュー改善による新たな鳳来牛の魅力、おいしさを発信 ・贈答用の強化とテイクアウトメニューの強化
	レストラン改装計画の策定 及び改装	<ul style="list-style-type: none"> ・鳳来牛とあわせて奥三河の「美味しい」が味わえる 店舗改装検討実施
信頼される従業員の育成	従業員の知識、技能、 接遇力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・接客対応の強化と徹底 ・内外部の研修会への参加と実践 ・外部機関による接客覆面調査の実施
	店舗管理マニュアルの 再構築、徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・J A愛知東版マニュアルに沿った管理の徹底

④ 地域特性に応じた地域インフラ機能(生活燃料)の維持と貢献

ライフラインとしての生活基盤の維持強化(給油所、LPガス)

目指すもの	実施具体策	取組み内容
地域ライフラインの確保	効率化と収益確保	<ul style="list-style-type: none"> ・「山間地域SSJ」 給油所間によるローテーション運営体制の構築とセミセルフ化の実施 ・灯油配送システムの導入による配送業務の合理化
安心・信頼を提供する 燃料事業の展開	利用者にメリットのある キャンペーン・イベントの 実施と確実なPRと周知 (油外商品含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードを活用した値引きキャンペーン ・油外商品取扱い拡大キャンペーン実施 ・SNS等を活用したPR方法の導入
	利用者に信頼される 職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な商品知識・技術の習得 ・接客マナーの徹底 ・保安教育の徹底(危険物の取扱意識向上)
顧客の維持・離反防止と 従量の増加「LPガス」	ライフスタイルに合った 料金プランの提案 (訪問活動強化)	<ul style="list-style-type: none"> ・競争力のある新たな料金制度 (電気・ガス料金のセットプラン)の構築



5 気軽に立ち寄れるまちの相談窓口づくり(不動産)

目指すもの	実施具体策	取組み内容
専門的な相談業務による 組合員・地域との つながり強化	相談業務を中心とした資産活用、 相談等の来店者数の向上対策	・専門知識向上による相談対応強化 ・ニーズにあった情報提供の実施
	賃貸住宅入居対策	・多様な媒体活用による充実した情報提供の掲載 ・オーナーへのリノベーション提案

6 健康的で豊かなくらしを実現する協同活動の展開

高齢者支援・生活支援を基本とした健康で安心できるくらしの支援

目指すもの	実施具体策	取組み内容
「宅食サービス」「家事支援」 「地域サロン」「見守り」を 4つの柱とした 高齢者支援活動の充実	女性組織と連携し宅食サービスなど 家事援助の導入	・宅食、家事支援サービス、研修会等の実施 ・宅配サービスによる見守り(安否確認)活動 ・人感センサー設置の呼びかけ
	男性の協力体制構築による高齢者支援	・男性サポーター制度の実施 ・サポーター養成講座の実施
住み慣れた地域で 元気に暮らし続ける 健康活動の支援	組合員の健康意識の向上に寄与する 健康作り活動の展開 「健康寿命100歳プロジェクト」	・厚生連による健康・運動教室の定期開催 ・足助病院との連携による、脳ドックの実施や Webによる健康体操・健康講話の実施
介護事業の体制整備	デイサービス事業の充実(北設地区) 介護相談事業の充実(新城地区)	・ケアマネジャーとの連携強化 ・介護事業者との連携強化

7 利用者から信頼される葬祭事業の充実

利用者ニーズに沿った葬儀要望の対応・事前事後の体制強化(葬祭)

目指すもの	実施具体策	取組み内容
多様化する 喪家目線に寄り添った JA葬祭	小規模葬の対応、組・地域を巻き込んだ 「地域葬」の積極的な提案	・組や寺院との繋がりを密にし、 喪家の意向に合った提案
	喪家の望むプラン提供と 事前・事後の相談強化と充実	・オプション内容の充実 ・積極的なアフターフォロー推進 JA葬祭協議会による死後事務手続き・ 相続・遺産管理等スムーズなアフター サービスの仕組み構築 ・葬儀後対応(貯金・公共料金・相続など)の 他部署との連携強化・情報共有
	「やすらぎ会員」の周知 「あゆむ音楽彩」の再開	・「やすらぎ永久会員制度」の情報発信とPR強化 ・「あゆむ音楽彩」継続及び人形供養祭等の検討

Ⅲ. 地域農業の発展を支える持続可能な JA経営を組合員とともに実現します。

組合員の声を組織・事業運営に結び付け「組合員・地域のためのJA」であることを強く認識し、自己改革・事業運営に取り組み、急激な収益構造変化に対応した経営基盤の構築により、組合員・地域の暮らしを支えていきます。

① 多様な情報ツール(広報誌、インターネット技術等)を活用し、組合員・利用者へJA活動の理解促進と参加、参画を図る。

目指すもの	実施具体策	取組み内容
子育て世代への情報発信強化を行い、JAへの理解促進と利用の拡大を図る	次世代へのアプローチとして、農・食を軸とした農業やJAへの関心が持てる情報の発信	・広報誌、インスタグラム等のネット技術を利用し、地産地消をメインにした、安全、安心の食の情報、イベント情報の発信
新たな組合員学習の場づくりによる理解促進	インターネット技術を活用した、学習の場を提供	・やまびこ大学、准組合員大学等、JAのイベント、教室、活動のWebライブ配信 JAと組合員のリモート会議の開催
ネット技術を利用した組合員との繋がり強化	LINEをプラットフォームとした情報コミュニティの確立	・情報の共有化による組合員とのコミュニケーション強化と的確なニーズの把握
組合員メリットの創出による利用者の組合員誘導	総合ポイントカードのポイント付与・還元を軸とした組合員特典	・組合員特典の見える化として、特典ポイントキャンペーン等の実施

② 組合員・利用者の意思を取り入れた組織運営の実現

目指すもの	実施具体策	取組み内容
組合員・利用者意見を反映し、JA事業の発展に繋げる	利用者モニター制度を再構築し、幅広い意見と提案を受ける組織運営を実現する	・支店運営委員による利用者モニター制度の設置 ・一般公募による利用者モニター制度の検討、実施 ・ネットリサーチの検討、実施
	女性組織の意思・意見を反映できる組織運営の構築	・世代別の女性組織と常勤役員との意見交換

③ JA総代組織体制の整備

目指すもの	実施具体策	取組み内容
地域状況を考慮した総代候補者選出地区定数の再編	総代候補者選出地区定数の再編	各地区状況の現状把握 ・地区単位の正組合員数把握 ・アンケート方式による状況把握 定数選出困難地区に対する選出方法の決定 ・地区外立候補者(公募枠、女性枠等)の総代任命の可能性を調査 ・地区別定数再編の検討、実施
	女性総代比率増加対策	女性正組合員加入方法の検討、実施 ・JA事業活用状況を分析し、正組合員世帯の女性に対しての組合員加入推進方法の検討 ・一戸複数正組合員制度を活用した女性正組合員加入促進

④ JA職員としての自覚を持ち地域に根ざした親しみのある職員づくり

目指すもの	実施具体策
組合員との対話を重視した親しみのある職員づくり	人材育成基本方針の実施による、組合員の立場に立ち、寄り添える職員育成
組合員と地域住民に信頼される職員の人材育成	専門的知識及び接客マナーの研修会の実施と、自ら資質向上に努め、創意工夫をし、主体的に取り組むことができる職員教育



5 持続可能な経営基盤の確立と強化

目指すもの	実施具体策	取組み内容
安定した経営を維持していくための環境改善と体制強化	経費削減方策の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング会社を通じた経費削減への取組 ・ペーパーレス会議の実施と、ワークフロー（※）等のデジタル技術を取り入れた業務の効率化 ・事業管理費を意識した職員教育
	施設集約化と合理化の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ・施設集約による投資効果の検証と合理化 ・遊休資産処分方法の検討・実施（解体、売却）

※ワークフロー…電子決裁の事。ペーパーレスの決裁処理を行う事により、迅速な意思決定、ペーパーレス化、脱ハンコを実現する。

6 事業運営における健全性の確保

目指すもの	実施具体策	取組み内容
健全なJA運営への取組み	内部統制システム（※1）有効性の向上	・リスク管理が有効に機能する体制整備
	内部監査機能の充実と強化	・内部監査士資格取得者の増加
	早期警戒制度（※2）への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事業リスク目線でのモニタリング実施 ・経営におけるPDCAサイクル（※3）の実践

※1：内部統制システム…企業の不祥事を防いで損失を回避し、対外的な信頼性を向上させるための社内体制

※2：早期警戒制度…自己資本比率が最低所要水準を割った際に発動される早期是正措置（早期に経営改善への取組みを促す）の対象とならない金融機関であっても、収益性、信用リスク、市場リスク、流動性リスクについて、金融庁が定める基準に該当した場合に経営改善を促す制度

※3：PDCAサイクル…Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Action（改善）を繰り返すことによって生産管理や品質管理などの管理業務を継続的に改善していく手法

総合財務計画 3か年計画

(3月末時点)

(単位：千円)

科 目	令和4年度計画額	令和5年度計画額	令和6年度計画額
1. 信用事業資産	190,084,171	190,347,256	190,615,043
(1) 現金	400,000	400,000	400,000
(2) 預金	157,271,749	155,328,256	153,636,043
(3) 有価証券	7,056,000	9,800,000	11,760,000
(4) 貸出金	24,547,422	24,000,000	24,000,000
(5) その他の信用事業資産	809,000	819,000	819,000
2. 経済事業資産	1,007,000	807,000	807,000
3. 雑資産	381,192	381,178	368,723
4. 固定資産	2,734,714	2,633,058	2,486,788
5. 外部出資	7,951,710	8,223,110	8,223,110
6. 繰延税金資産	240,000	240,000	240,000
資産の部合計	202,398,787	202,631,602	202,740,664
1. 信用事業負債	180,770,552	180,923,552	180,923,552
(1) 貯金・定期積金	180,173,552	180,173,552	180,173,552
(2) その他の信用事業負債	597,000	750,000	750,000
2. 共済事業負債	625,000	552,000	542,000
3. 経済事業負債	596,000	638,000	638,000
4. 雑負債	340,000	370,000	370,000
5. 資産除去債務	18,000	17,000	17,000
6. 諸引当金	671,468	673,343	649,438
7. 繰延税金負債	18,000	11,000	11,000
負債の部合計	183,039,020	183,184,895	183,150,990
1. 出資金	922,000	908,170	900,000
2. 利益剰余金	18,437,767	18,538,537	18,689,674
(うち当期末処分剰余金)	(516,598)	(573,368)	(524,505)
純資産の部合計	19,359,767	19,446,707	19,589,674
負債及び純資産の部合計	202,398,787	202,631,602	202,740,664

総合損益計画 3か年計画

(単位：千円)

科 目	令和4年度計画額	令和5年度計画額	令和6年度計画額
事業総利益	2,934,220	3,080,432	3,004,770
信用事業総利益	1,108,335	1,019,380	970,238
共済事業総利益	656,999	666,700	658,944
購買事業総利益	676,089	891,574	878,110
販売事業総利益	132,278	139,865	140,006
保管事業総利益	4,526	4,593	4,597
利用加工事業総利益	359,857	360,291	354,400
宅地等供給事業総利益	21,350	21,350	21,350
指導事業収支差額	▲ 25,214	▲ 23,321	▲ 22,875
事業管理費	2,804,011	2,918,959	2,851,099
うち 人件費	1,945,026	1,987,625	1,954,674
うち 施設費	504,190	560,646	531,073
事業利益	130,209	161,473	153,671
事業外損益	186,382	152,613	152,613
経常利益	316,591	314,086	306,284
特別損益	▲ 32,022	0	0
税引前当期純利益	284,569	314,086	306,284
法人税・住民税及び事業税	79,110	87,316	85,147
当期末処分剰余金	516,598	573,368	524,505
うち 当期剰余金	205,459	226,770	221,137

販売品販売高計画表3か年計画

(単位：千円)

区 分		令和4年度計画額	令和5年度計画額	令和6年度計画額
農 産	米	373,947	378,510	383,610
	養 蚕	38	38	38
	荒 茶	21,630	21,630	21,630
	農 産 計	395,615	400,178	405,278
園 芸	白 菜	1,096	1,096	1,096
	ほ う れ ん 草	56,500	59,000	60,000
	き ゅ う り	2,593	2,593	2,593
	茄 子	18,935	19,543	19,001
	桃 太 郎 ト マ ト	478,711	533,264	544,605
	ルネッサンストマト	30,800	31,320	31,860
	ミ ニ ト マ ト	106,306	105,700	106,000
	里 芋	7,863	7,863	7,863
	自 然 薯	3,600	3,600	3,600
	つ ま も の	8,150	9,150	10,153
	し い た け	104,930	104,940	111,870
	そ の 他 野 菜	37,382	37,870	38,220
	野 菜 計	856,866	915,939	936,861
	柿	39,630	36,698	32,881
	巨 峰	17,260	17,260	16,148
	い ち じ く	5,115	5,371	5,657
	イ チ ゴ	389,708	394,214	402,873
	梅	2,406	2,350	2,300
	栗	3,180	3,447	3,260
	そ の 他 果 実	699	699	699
	果 実 計	457,998	460,039	463,818
	切 花	10,403	10,060	9,860
	鉢 花	44,225	44,225	44,225
	花 木	6,080	6,000	6,000
	花 計	60,708	60,285	60,085
	市 場 外 計	4,722	4,802	4,852
	農 産 園 芸 計	1,775,909	1,841,243	1,870,894
畜 産	肉 豚	32,310	32,307	32,307
	肉 牛	714,147	708,920	708,920
	仔牛（和牛）	300,775	298,560	298,560
	仔牛（スモール）	46,363	45,075	45,075
	ブ ロ イ ラ ー	470,091	473,886	473,886
	生 乳	543,580	555,984	555,984
畜 産 計	2,107,266	2,114,732	2,114,732	
産 直	産 直 店 舗	262,576	165,106	155,600
	Aコープ（2店舗）	123,925	144,665	145,051
産 直 計	386,501	309,771	300,651	
販 売 合 計	4,269,676	4,265,746	4,286,277	
手 数 料 計	129,973	137,159	136,659	
総 販 売 品 販 売 高	4,399,649	4,402,905	4,422,936	

管内利用者アンケート調査を実施

組合員アンケート

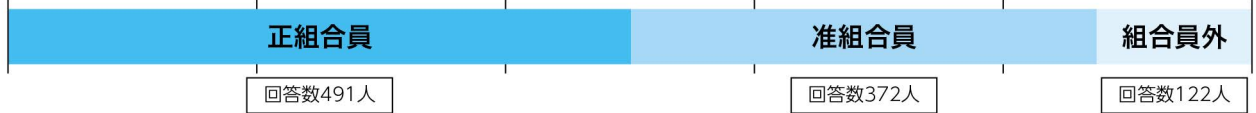
正組合員……J A総代499名を対象
 准組合員……利用高配当上位及び総合ポイント付与上位者702名を対象
 員 外……総合ポイント付与上位者300名を対象

生産部会アンケート

生産部会……部会員604名を対象
 産直部会アンケート
 産直部会……出荷額上位300名を対象

組合員と農業について

(1)回答者の状況



(2)性別割合



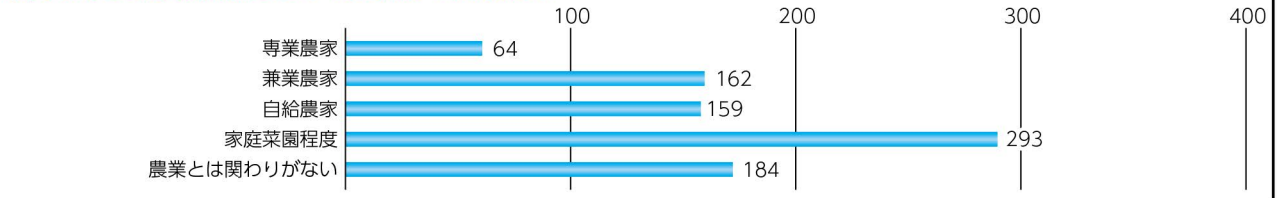
(3)年代別割合



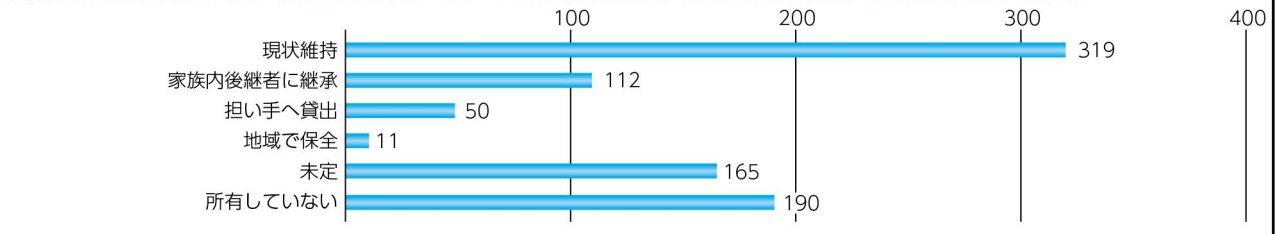
(4)地区別割合



(5)あなたの農業形態についてお聞かせください

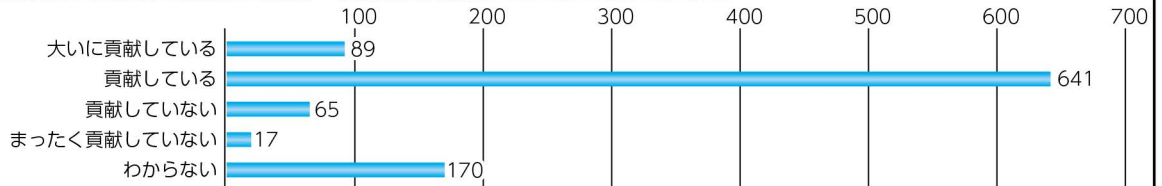


(6)あなたが所有している農地について、今後の農地活用や継承をどのように考えていますか

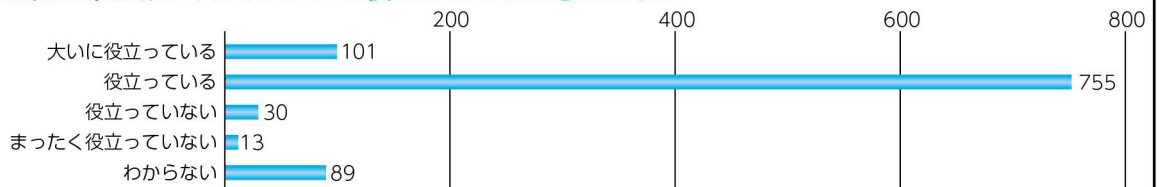


J A 愛知東全体について

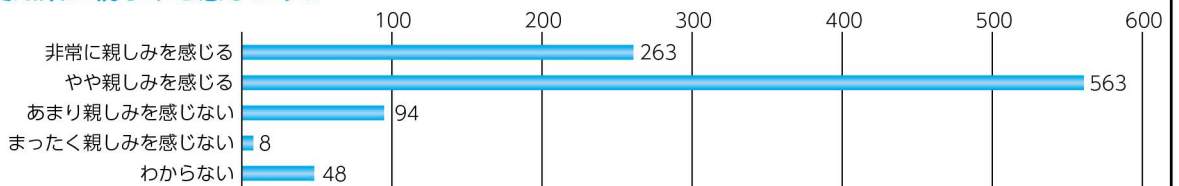
(1) J A 愛知東は当地域の農業の振興・発展に貢献していると思いますか



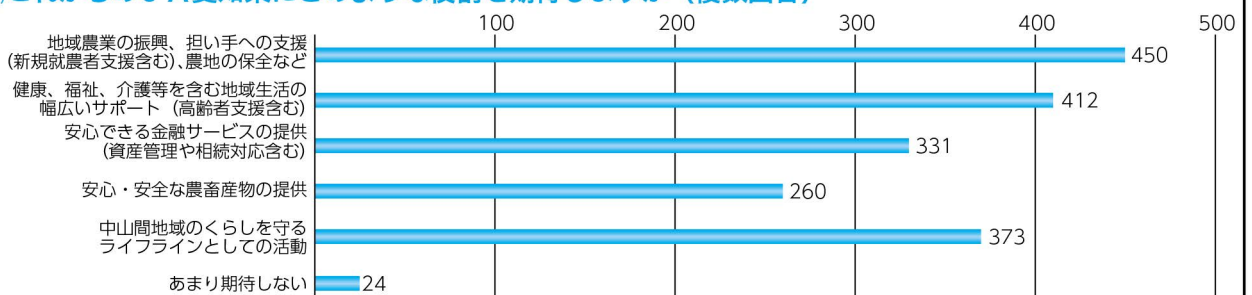
(2) J A 愛知東は当地域のくらしについて役立っていると思いますか



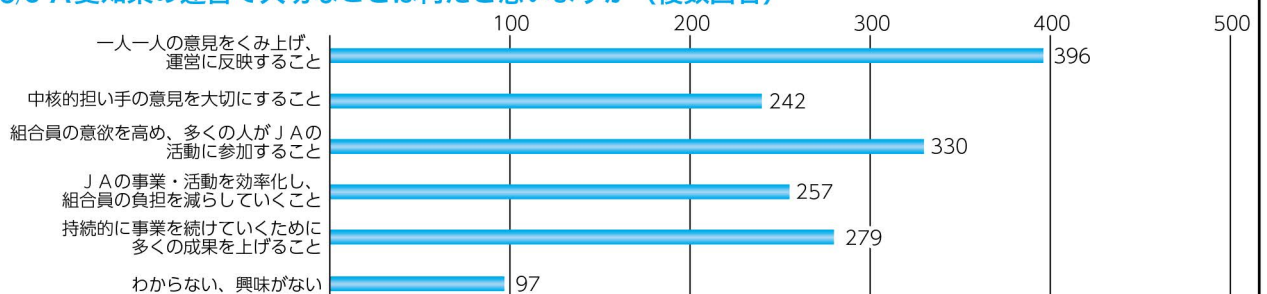
(3) J A 愛知東に親しみを感じますか



(4) これからの J A 愛知東にどのような役割を期待しますか (複数回答)

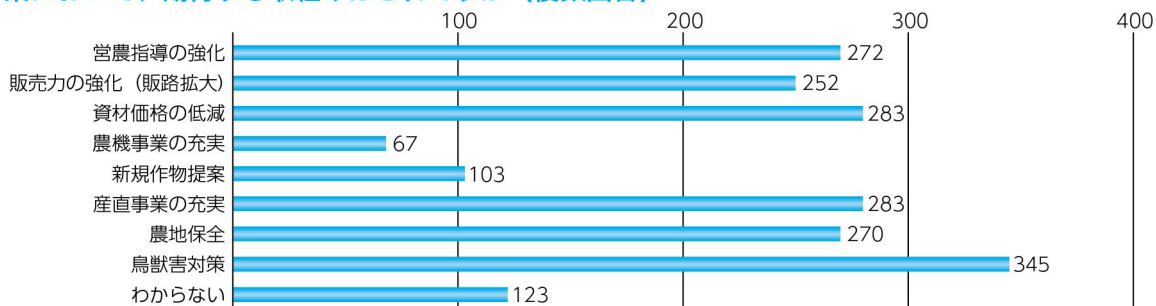


(5) J A 愛知東の運営で大切なことは何だと思えますか (複数回答)

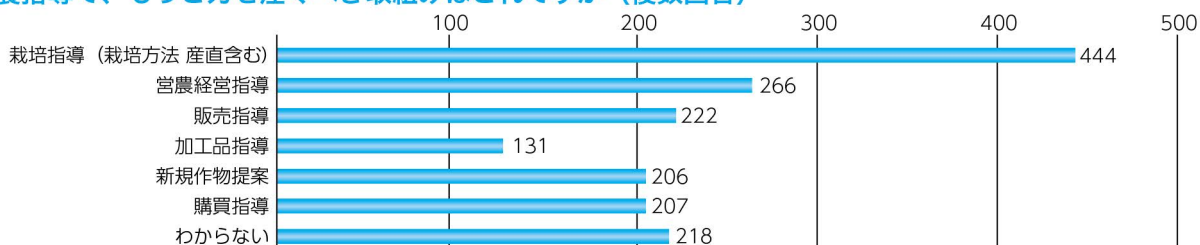


営農事業について

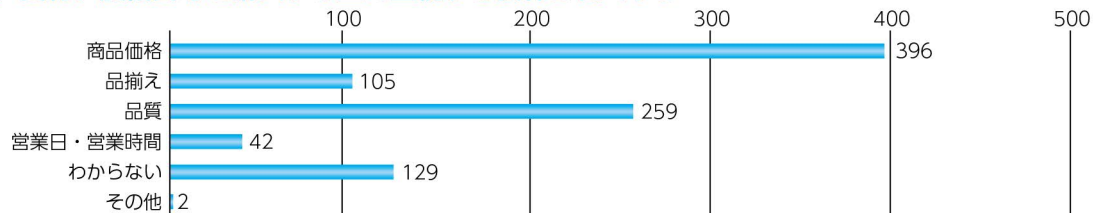
(1) 営農事業において、期待する取組みはどれですか（複数回答）



(2) 営農指導で、もっと力を注ぐべき取組みはどれですか（複数回答）

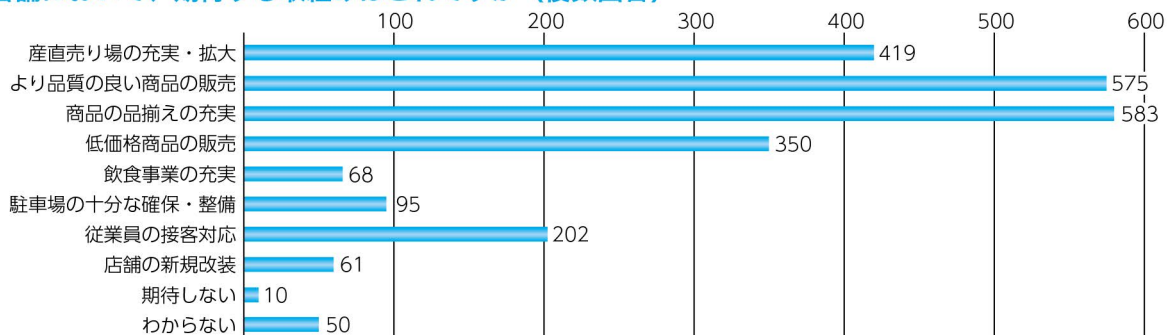


(3) 肥料、農薬、資材、農機具等を購入する上で重視する要件は何ですか

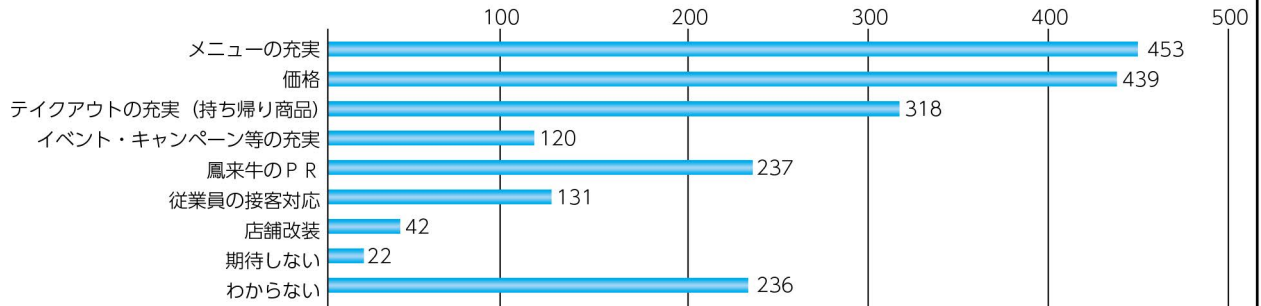


店舗（産直含む）事業について

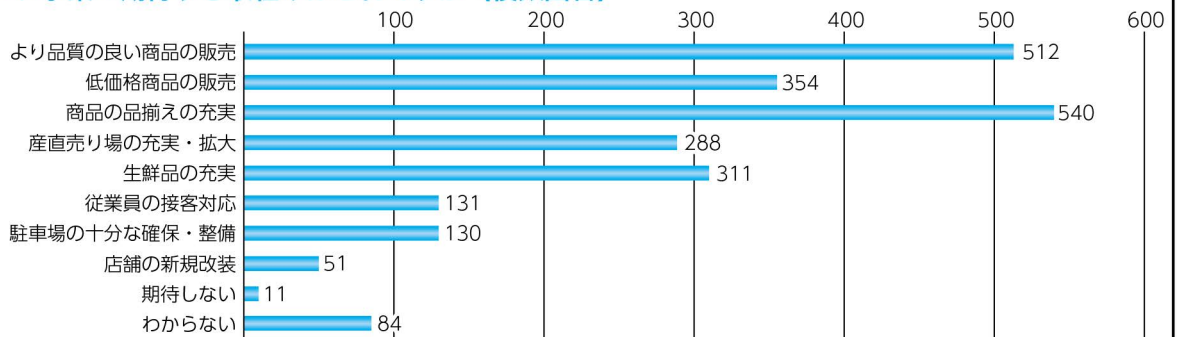
(1) 産直店舗において、期待する取組みはどれですか（複数回答）



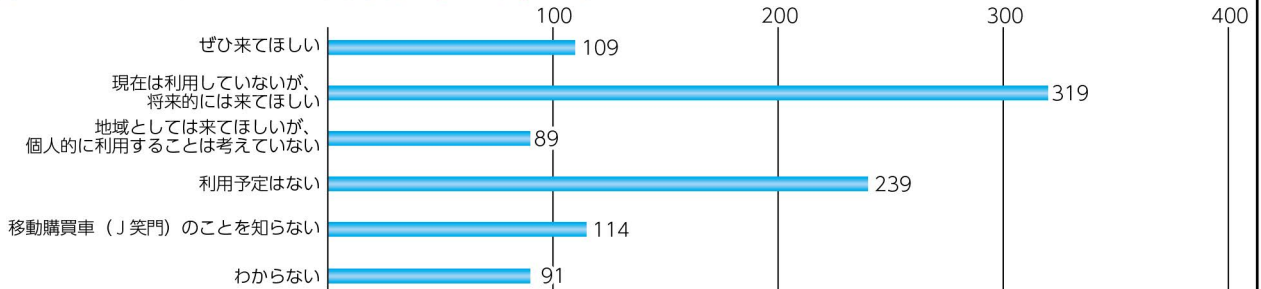
(2)現在のこんたく長篠レストラン事業について、期待する取組みはどれですか（複数回答）



(3)Aコープ事業へ期待する取組みはどれですか（複数回答）

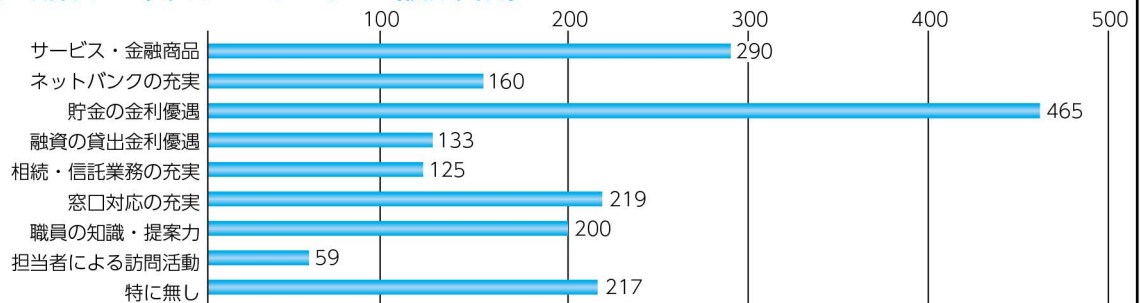


(4)あなたの地域周辺に、移動購買車（J笑門）が来てほしいと思いますか

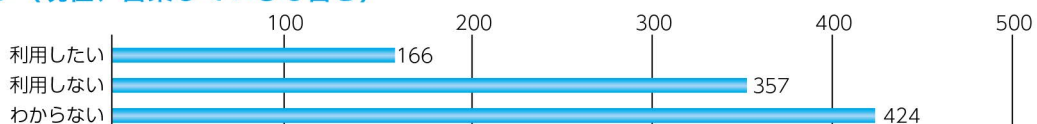


信用事業について

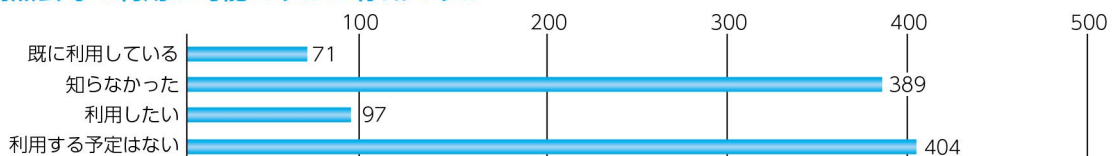
(1)金融機関に期待する取組みはどれですか（複数回答）



(2)現在、移動金融店舗車（あいライナー）が特定で営業していますが、今後、近くで営業をしたらご利用されますか（現在、営業しているも含む）

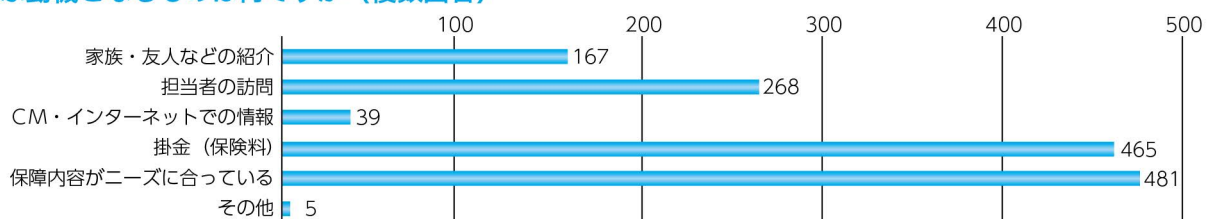


(3)現在、スマートフォン・パソコンを用いてインターネットを通じ振込・残高照会等の利用が可能ですかご存知ですか

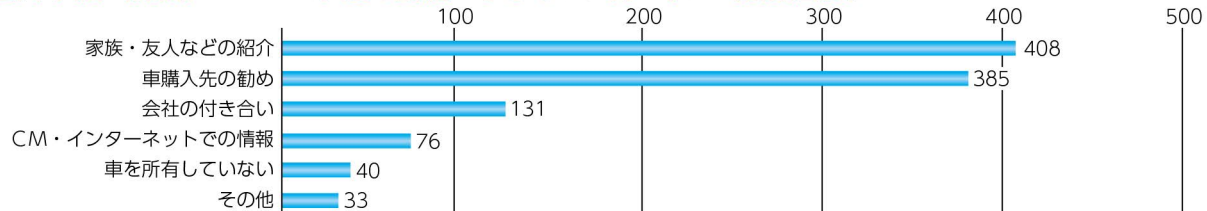


共済事業について

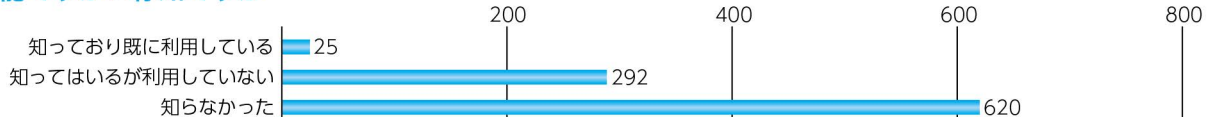
(1)ひと（万が一の保障、医療の保障）・いえに関する共済（保険）について、選ぶ動機となるものは何ですか（複数回答）



(2)自動車共済（保険）について、選ぶ動機となるものは何ですか（複数回答）



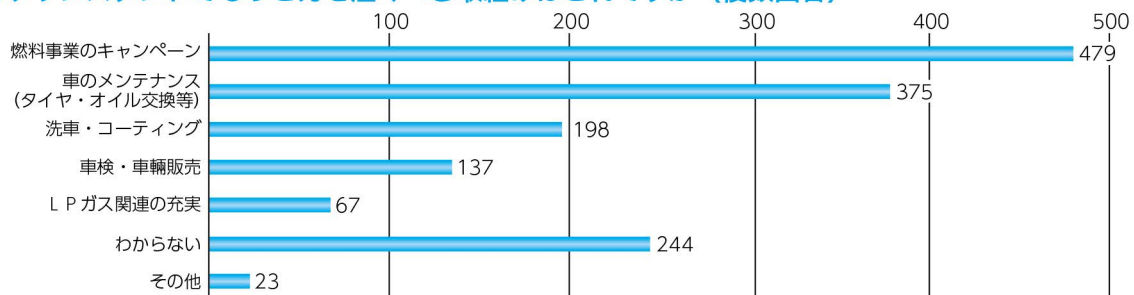
(3)現在、スマートフォン・パソコンを用いてインターネットを通じ、自動車共済事故受付、建物共済被害報告、契約内容確認（JA共済アプリ・Webマイページ・Web約款等）の利用が可能ですかご存知ですか



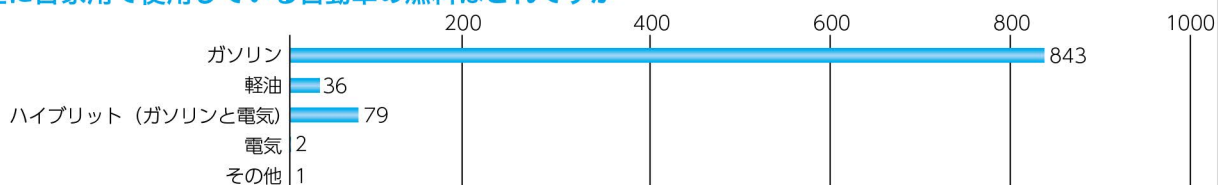


生活（くらし）事業について

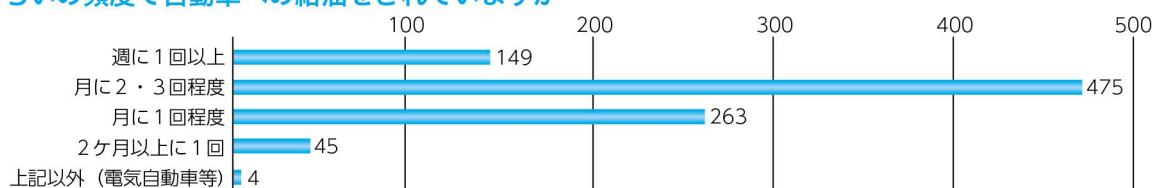
(1) J Aのガソリンスタンドでもっと力を注ぐべき取組みはどれですか（複数回答）



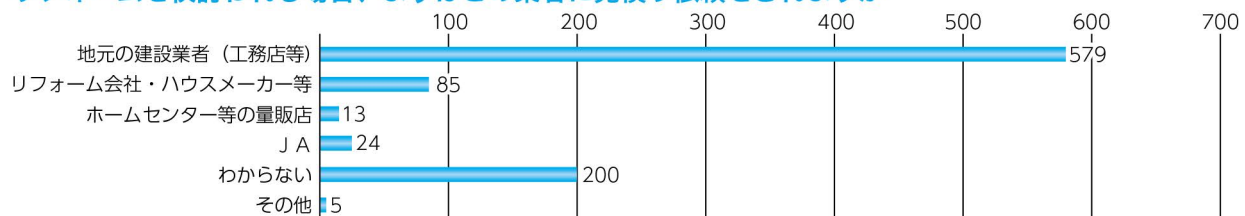
(2) 主に自家用で使用している自動車の燃料はどれですか



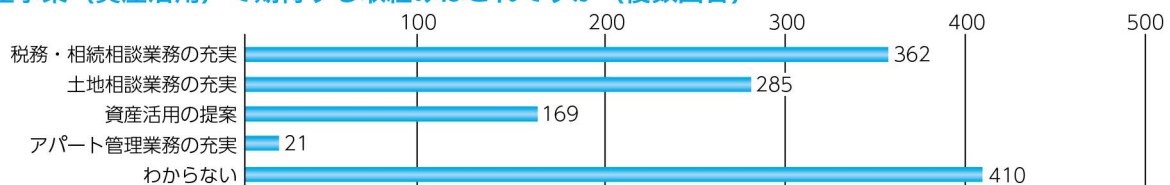
(3) どれくらいの頻度で自動車への給油をされていますか



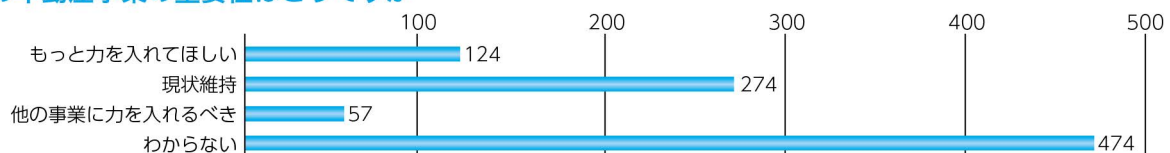
(4) J Aでもリフォーム（住宅設備の改修・バリアフリー化工事など）を扱っておりますが、リフォームを検討される場合、まずはどの業者に見積り依頼をされますか



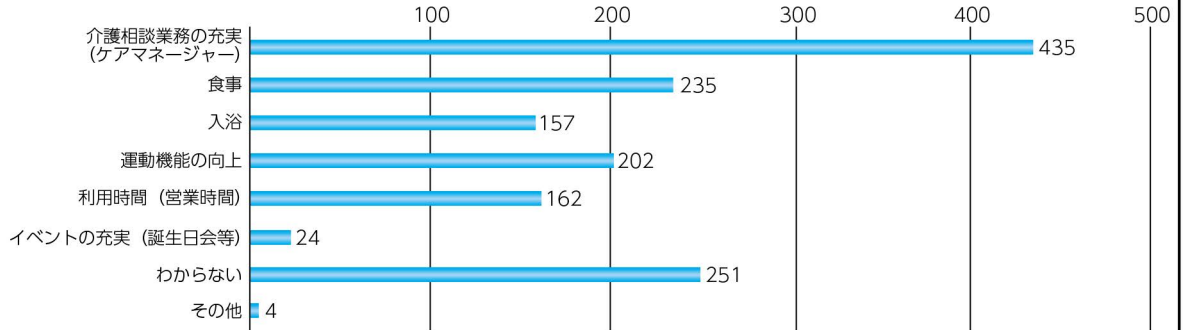
(5) 不動産事業（資産活用）で期待する取組みはどれですか（複数回答）



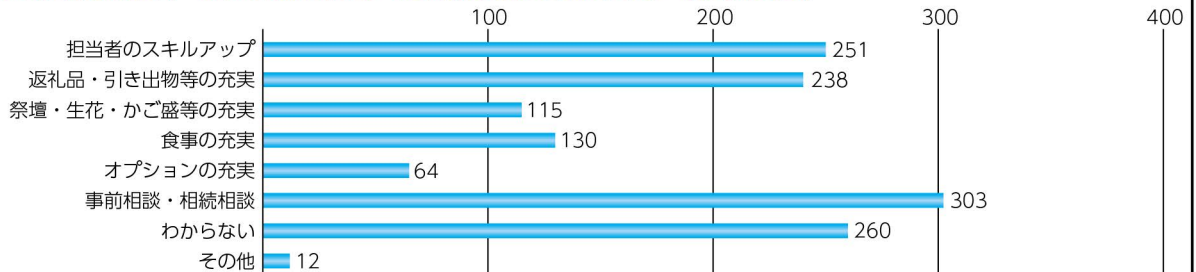
(6) 今後の不動産事業の重要性はどうか



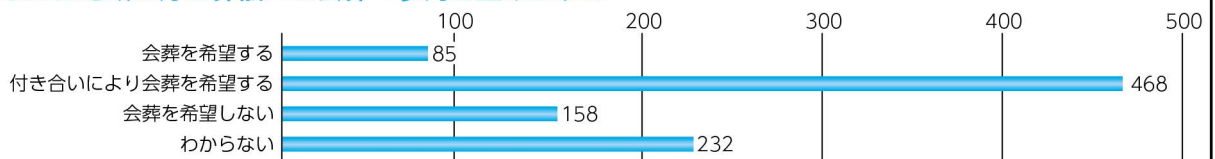
(7)介護事業（デイサービス・居宅介護）で期待する取組みはどれですか（複数回答）



(8)JAの葬祭事業で、もっと力を注ぐべき取組みはどれですか（複数回答）

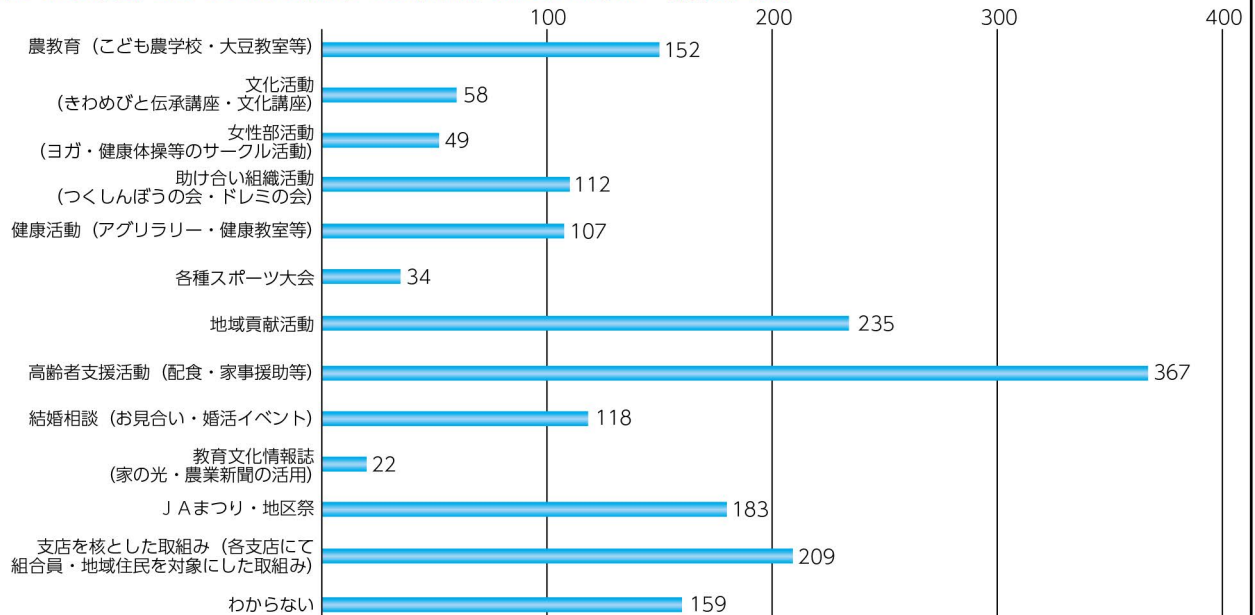


(9)JAでは地域で長年共に暮らしてきた故人様を地域で送る『地域葬』も提案しています。あなたは地域の方の葬儀への会葬・参列を望みますか



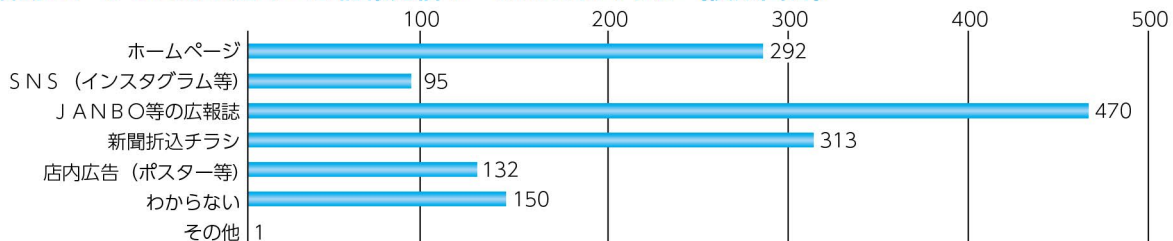
JAの活動及び組合員メリットについて

(1)JAの活動でもっと力を注ぐべき取組みはどれですか（複数回答）

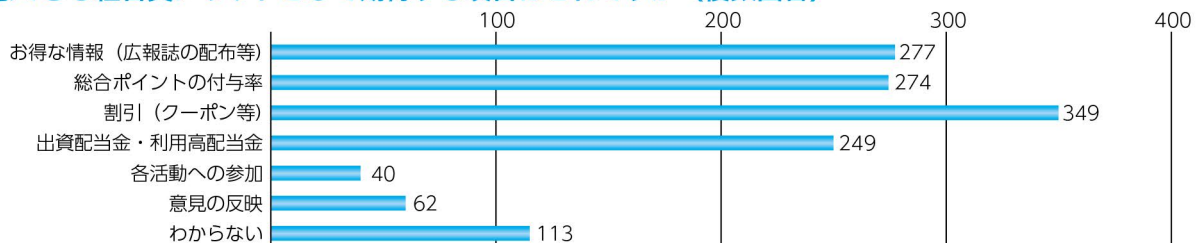




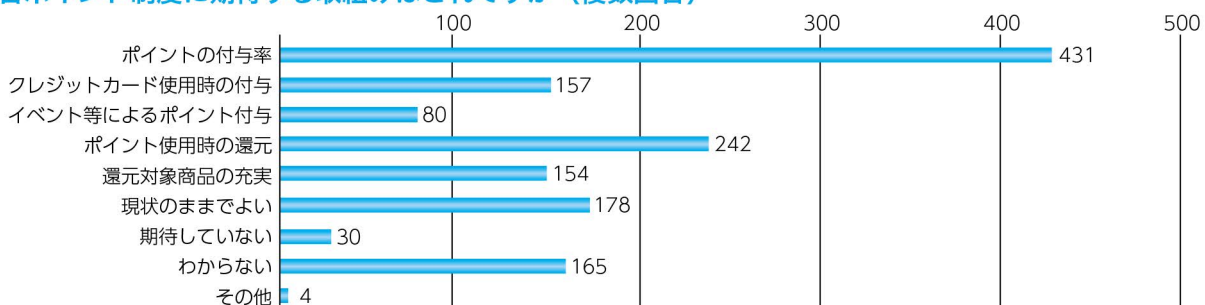
(2) 広報活動で、もっと力を注ぐべき情報発信ツールはどれですか (複数回答)



(3) 実感できる組合員メリットとして期待する項目はどれですか (複数回答)

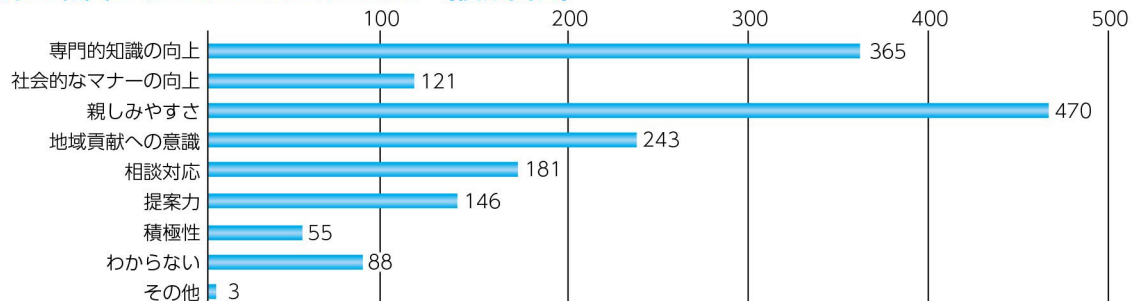


(4) 総合ポイント制度に期待する取組みはどれですか (複数回答)



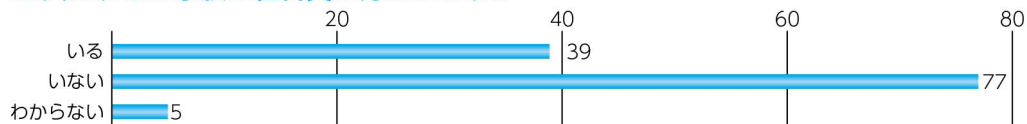
JA職員について

(1) JA愛知東の職員に求めることはどれですか (複数回答)



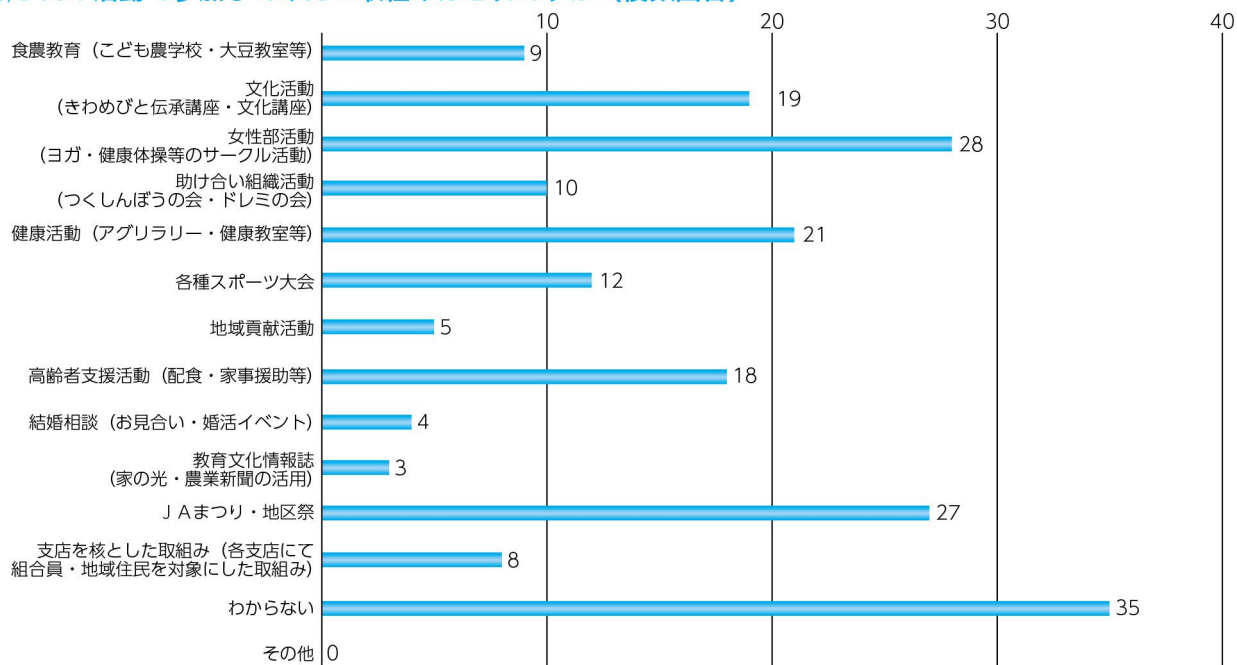
住まいを共にする家族について（利用者（員外）のみの質問）

(1)あなたのお住まいを共にするご家族に組合員の方はいますか



J Aの活動について（利用者（員外）のみの質問）

(1)J Aの活動で参加してみたい取組みはどれですか（複数回答）

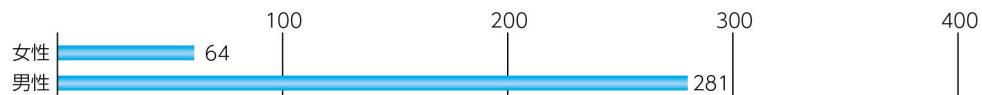




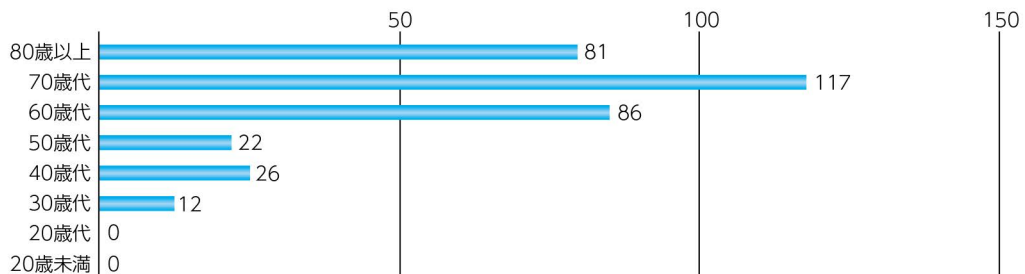
生産部会向けアンケート結果（部会員604名を対象）

アンケート回答者状況

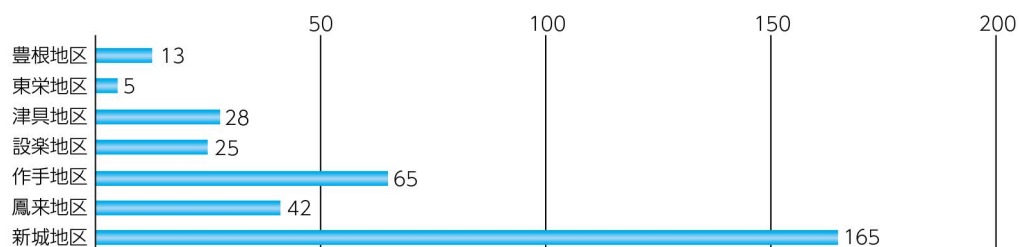
(1)性別



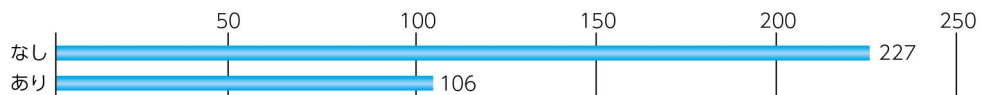
(2)年代



(3)農業経営地区

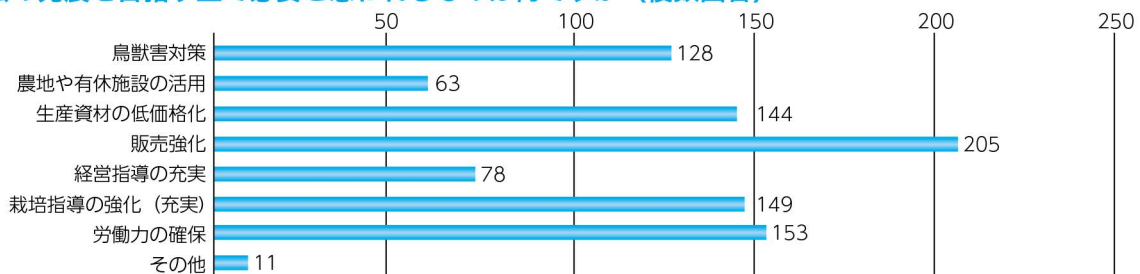


(4)後継者の有無

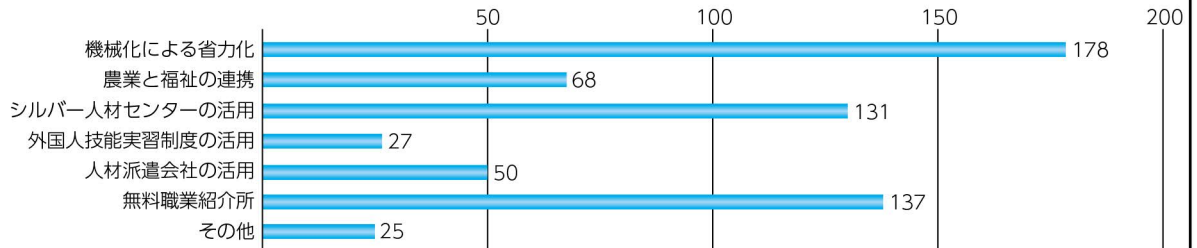


営農部指導事業について

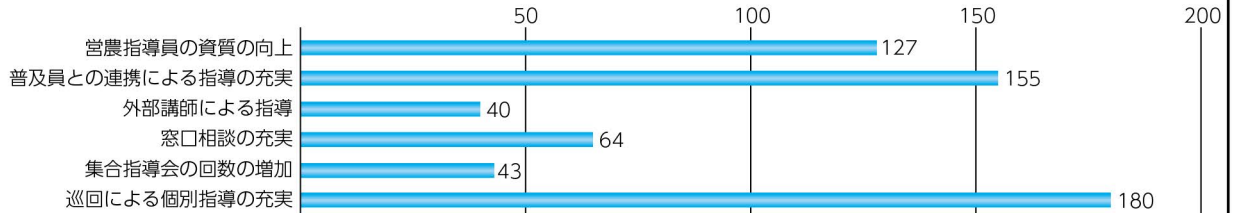
(1)生産部会の発展を目指す上で必要と思われるものは何ですか（複数回答）



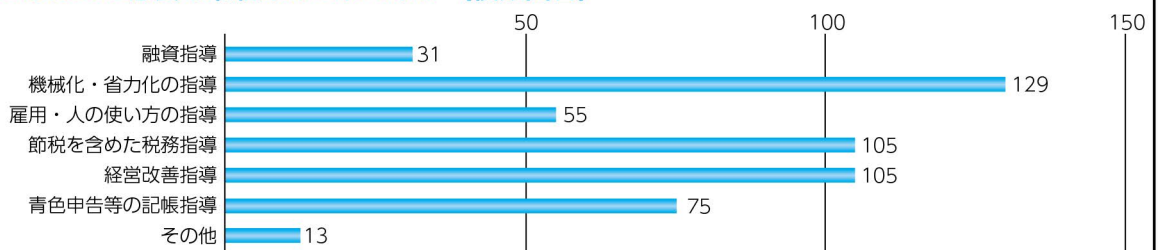
(2)労働力を確保するために必要と思われるものは何ですか (複数回答)



(3)営農指導について、今後、力を注ぐべき取組みはどれですか (複数回答)

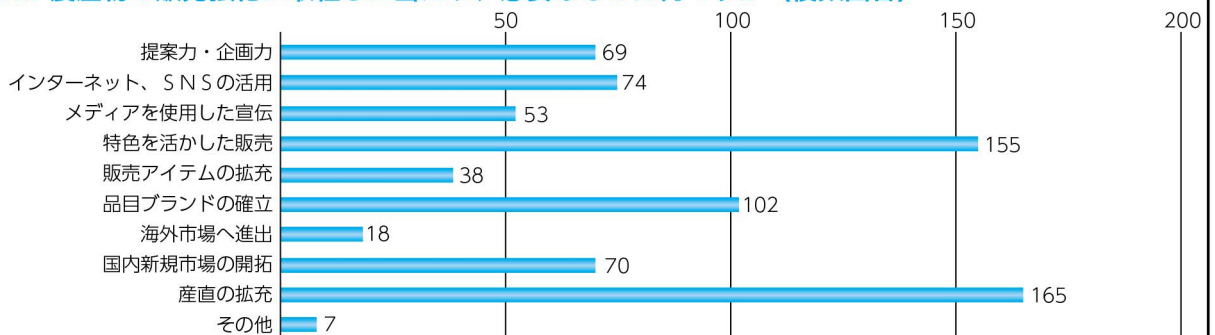


(4)経営指導で確定申告の支援、経営相談等を行っておりますが、今後、より経営指導等を充実させるために必要な取組みはどれですか (複数回答)



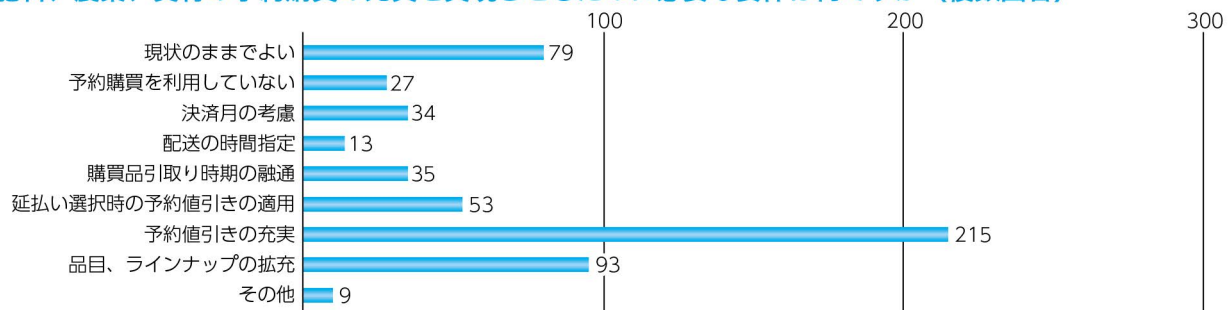
販売事業について

(1)JAが農産物の販売強化に取り組むに当たり、必要なものは何ですか (複数回答)



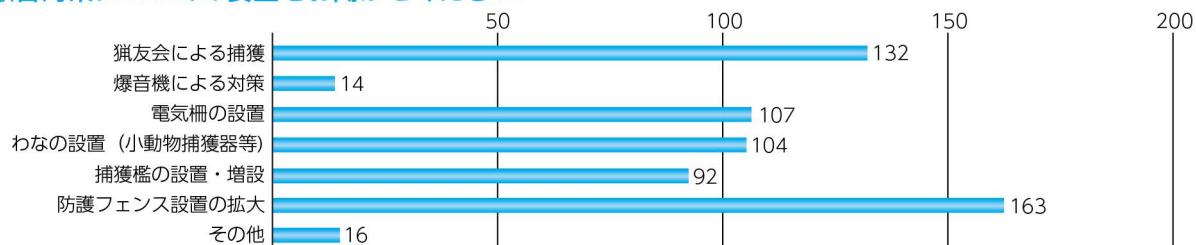
購買事業について

(1)肥料、農薬、資材の予約購買の充実を実現させるために必要な要件は何ですか（複数回答）



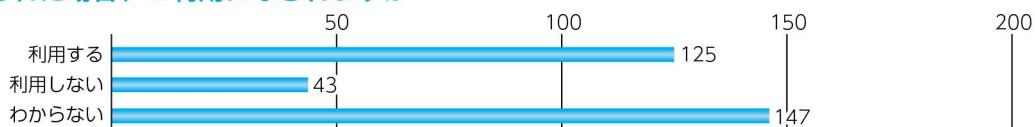
鳥獣害対策について

(1)鳥獣害対策についての要望をお聞かせください



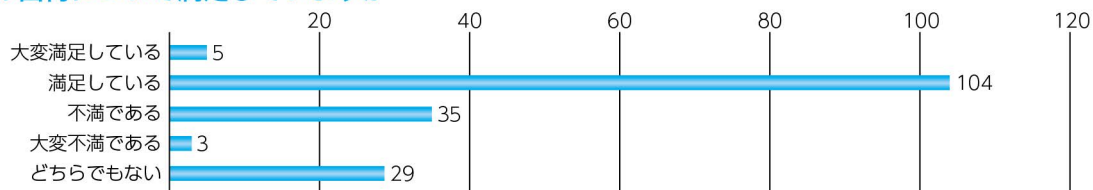
インターネットを活用したシステム構築について

(1)今後、インターネットを利用した営農購買の注文及び購買・販売明細書の閲覧等を可能とするシステムが整備された場合、ご利用になれますか

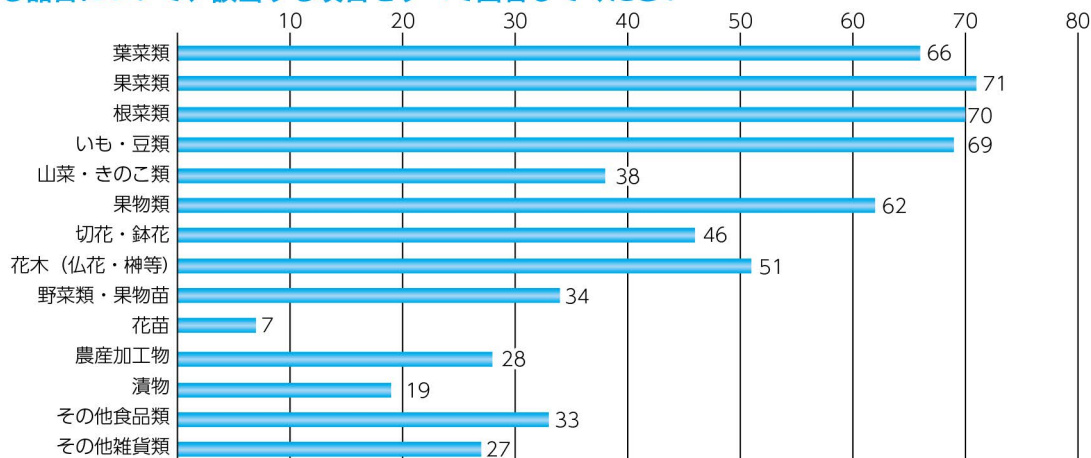


産直部会向けアンケート結果（出荷額上位300名を対象）

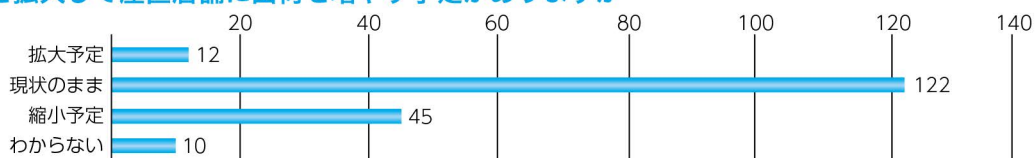
(1)現在の産直の出荷について満足していますか



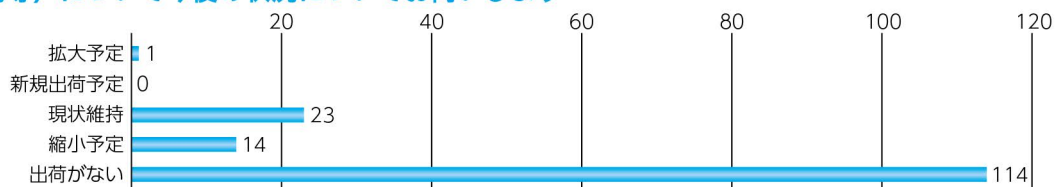
(2)出荷している品目について、該当する項目をすべて回答してください



(3)今後、生産規模を拡大して産直店舗に出荷を増やす予定がありますか

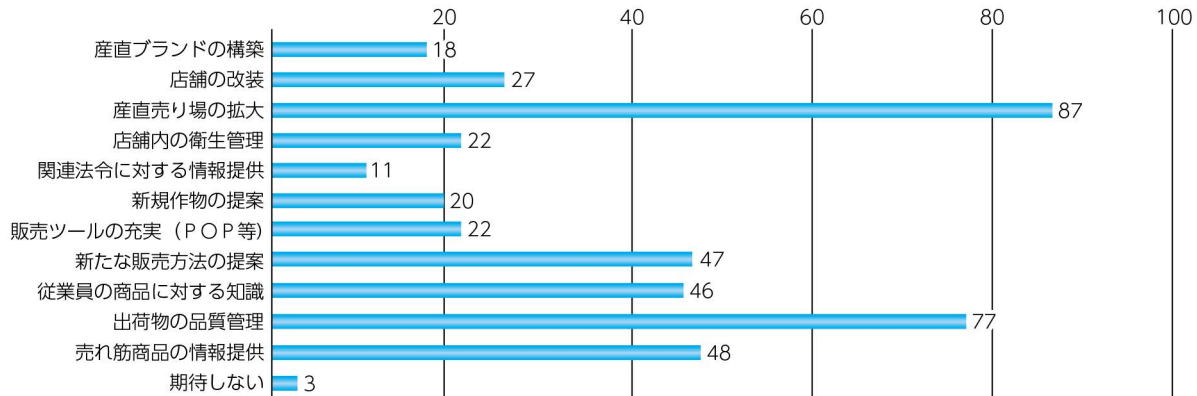


(4)加工商品（漬物等）について今後の状況についてお伺いします



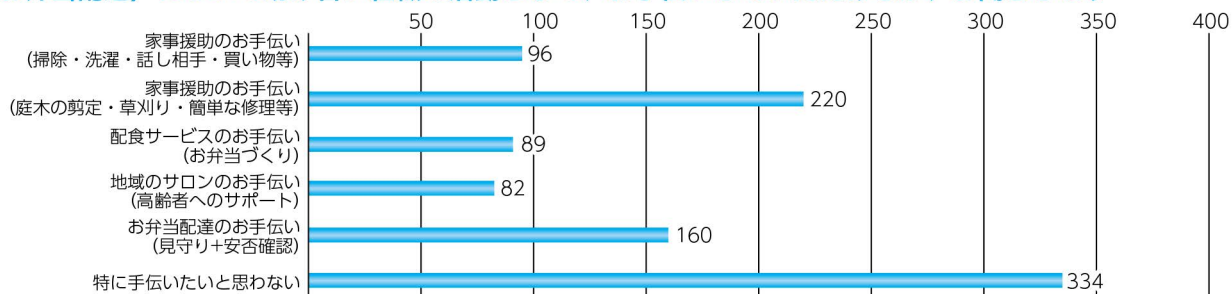


(5)今後の産直売り場について期待することは何ですか（複数回答）

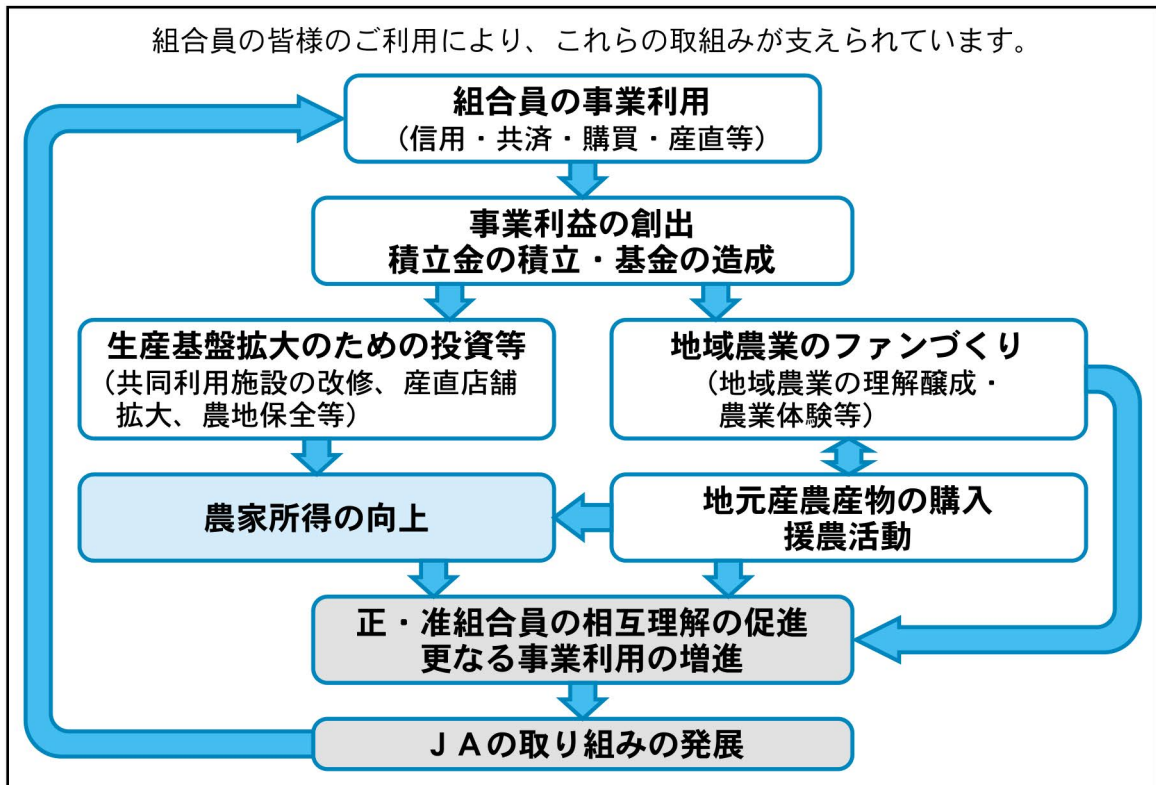
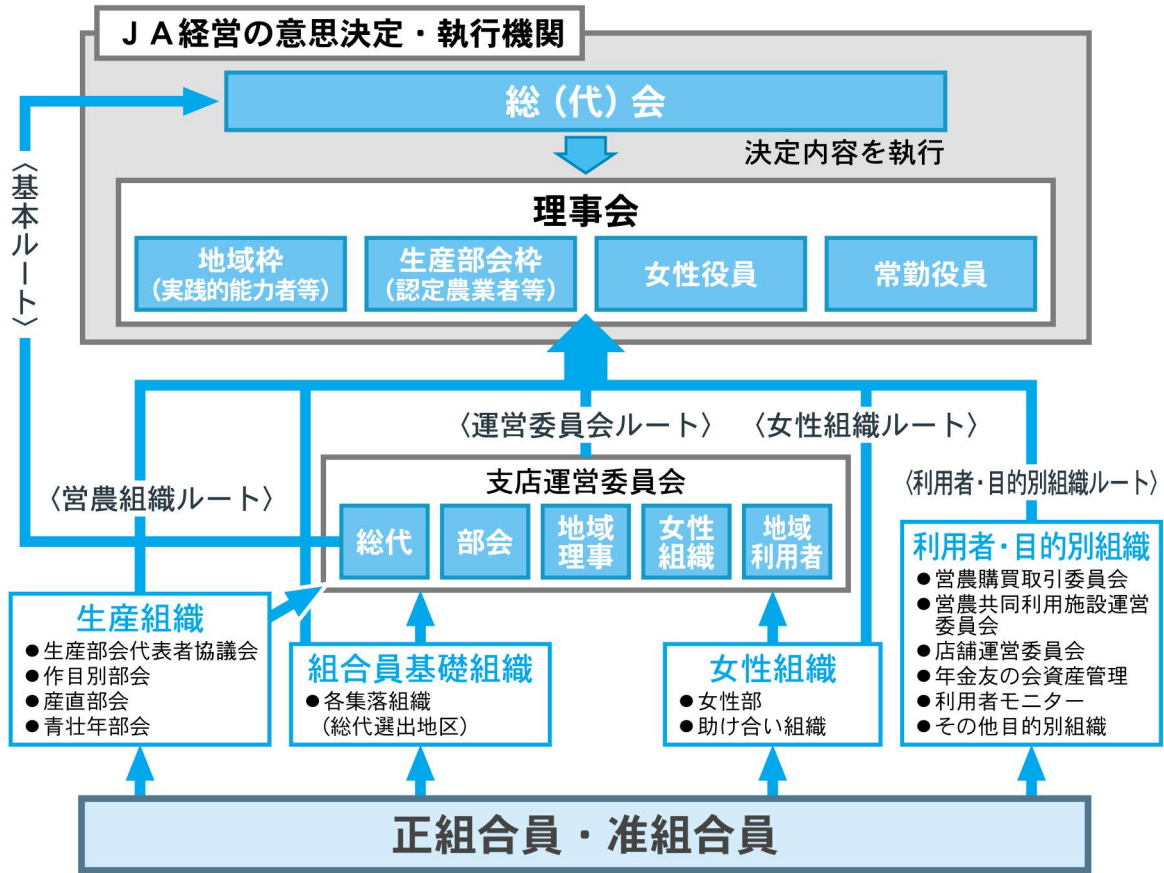


高齢者支援アンケート結果

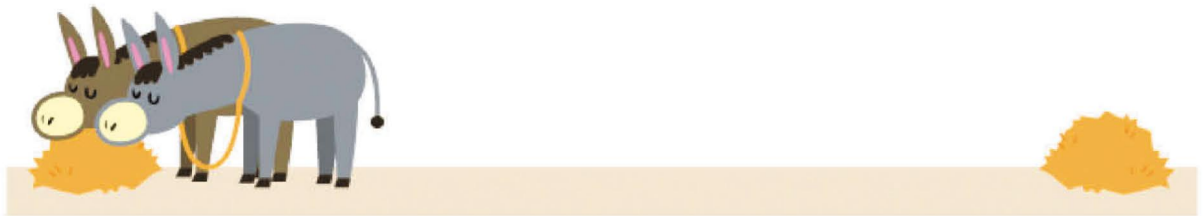
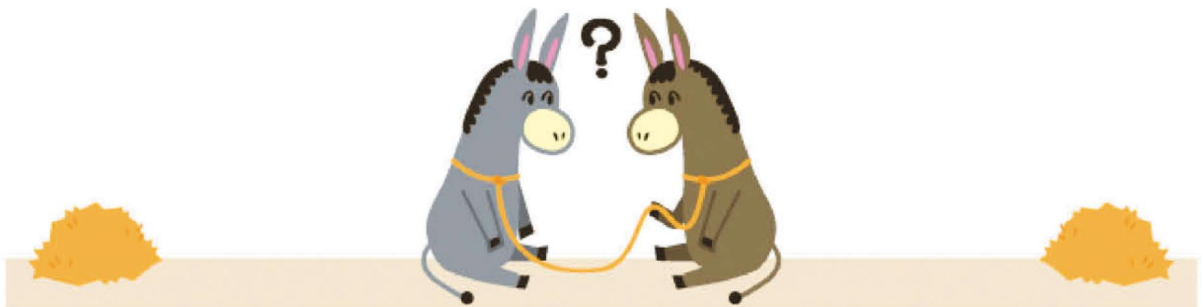
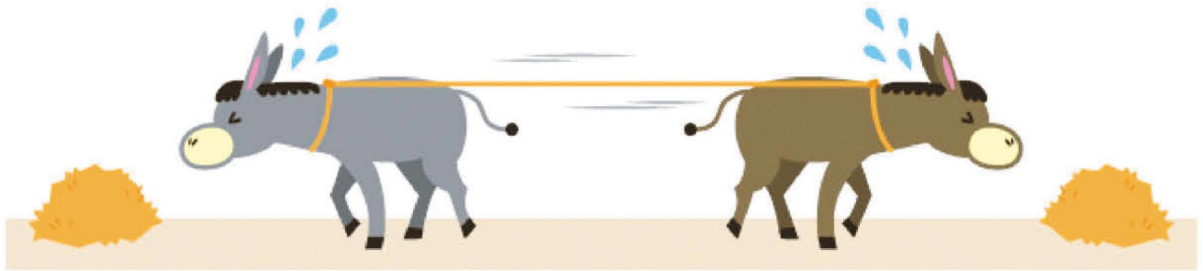
(1)高齢者支援の取組みとして、家事援助・配食サービス・地域のサロン・見守り（配食サービスでのお弁当配達）について助け合い組織の活動として、お手伝いしていただけるか、お聞きします



JAの組合員意思反映ルート



「協同の精神」を実践



2頭のロバが互いに協力、
助け合うことで、
暮らしを豊かにする
協同の精神を表しています。



一人一人の声を結集し、大きな声に

JAグループ愛知は農業・食・地域の振興を通じて
持続可能な社会の実現を目指します



《未来に残そう水と緑》

Save water and green for our future.

愛知東農業協同組合

〒441-1361 愛知県新城市平井字中田 6-1
TEL (0536) 22-1225 (代表) FAX (0536) 23-2929
<http://www.ja-aichihigashi.com>